

〈資料〉

日本におけるギリシア学・ローマ学の 流入・移植・受容と展開の文献史（六）

— 切支丹時代から昭和二十年までの著作文献年表 —

渡 邊 雅 弘・編

【参考文献追加】

- (20) 小林雅夫「日本の大学における西洋古典研究」西洋史論叢22（2001）（早稲田大
学史学会・西洋史部会）
- (21) Chiaki Matsudaira（松平千秋）, Classical scholars in Japan publish masterpieces
worthy of pride, The Japan Times 9/25, 1991
- (22) Manabu Akiyama（秋山学）, Classical Studies in Japan, Prospects Spring 1996
（National Committee for Latin and Greek）
-

昭10（1935）

- A. エルヴィン・ヤーン「ゲーテと希臘の生活様式」ゲーテ年鑑4
ゲーテ／黒板禎二譯「羅馬第二次滞在記」（ゲーテ全集刊行會編「ゲーテ全集」
12中）
ゲーテ著／岩崎眞澄譯『伊太利紀行』（ゲーテ全集刊行會編「ゲーテ全集」11）
田中克己「多島海」（詩）コギト33
岡登貞治「希臘の旅」教育評論12月號
田代安子「ローマ人とギリシヤ人と——（ニューマン）「カリスタ」を讀みて」
創造3
（参考：會報「西洋史部會」（75教室）、史觀8
（學生）野恒太郎君「エトロスカ文化研究」）
瀬川三郎「ギリシヤの自然と生活と文化」教育論叢33-6
龜井勝一郎「奴隸なき希臘の國へ」日本浪漫派1-2
和辻哲郎「牧場」思想152, 153, 154
和辻哲郎『風土』
安倍能成「豊富なる獨創——和辻哲郎教授の「風土」を讀みて」帝國大學新聞599
カレント・ブック、帝國大學新聞602

一齋藤茂吉「和辻哲郎『風土』」、安倍能成「和辻哲郎著『風土』」
本多淺治郎『文化史的に見た西洋史』
加藤咄堂『讀書と修養』
椎崎法藏「『文明史』日本移入過程の分析—明治史學思想史の一齣」歴史科學

4-2

(参考：京都帝國大學文學部哲學科講義題目、哲學研究229)

哲學概論(田邊) 演習(Hegel: Phänomenologie des Geistes、田邊) 西洋哲學史(古代中世哲學史、山内) 西洋哲學史(近世哲學史、九鬼) 特殊講義(ミュトスの研究、山内) 演習(Platon: Timaios、山内) 心理學概論(野上) 西洋倫理學史(天野) 演習(Hegel: Grundlinien der Philosophie des Rechts、天野) 教育學概論(長田) 美學序論(植田) 宗教學概論(波多野) 特殊講義(Plotinusの宗教哲學Enneades Vの解釋、波多野) 演習(Hegel: Philosophie der Geschichte、波多野)

(参考：昭和十年度東京帝國大學文學部史學關係講義題目、史學雜誌546)

史學概論(今井) 西洋史概説(山中) 西洋哲學史概説(出、伊藤) 西洋倫理學史概説(長尾) 宗教史概説(石橋) 教育史概説(阿部) 等)

(参考：臺北帝人哲學科講義題目(昭和十年度)、臺北帝國大學文政學部・哲學科研究年報2)

哲學概論(二)(岡野)、倫理學概論(二)(世良)、西洋倫理學史(二)(柳田)、講讀及演習(Aristoteles, Ethica Nicomachae, trs. by D.Ross、世良)、心理學概論(飯沼)、教育史概説(福島)、西洋教育史(二)(福島) 等)

B. ①アリストテレス著／岩崎勉譯『形而上學』(哲學名著叢書6)

出隆『プロチノス・エネアデス(抄譯)』(大思想文庫5)

②パスカル著／柳田泉譯『隨想錄』(哲學名著叢書4)

大日本雄辯會編『英雄天才史傳』?

三木清『アリストテレス・形而上學』(大思想文庫2)

バーネット著／出隆・宮崎幸三郎譯『プラトン哲學』

岩下壯一『アウグスチヌス・神の國』(解説、大思想家文庫6)

佐々木清之丞『西洋教育史新講』

石山脩平『西洋教育史』(下)

石山脩平『教育的解釋學』(第5篇4章「古代中世解釋學」)

大瀬甚太郎『歐洲教育史—上古よりベスタロッチに至る』(再版?)

田制佐重『西洋古代教育文獻篇』(世界教育文庫・學說篇(4))

曾田慶司『文檢參考・統合西洋教育史綱要』

- ③シェストフ／永都介譯「狂亂の言葉（プロティノスの奪魂）」「形而上學的眞理の源泉について（縛られたパルメニデス）」（改造社版「シェストフ選集」第2巻中）
- ベアリング／花田鐵太郎譯「蟬こそ幸なれ（クサンチッペとソクラテス）」「女神畫縁起」（ヴィーナス）「令嬢はライオンがお好き」（ストア派）（「蟬こそ幸なれ」中）
- 片山敏彦「樹間のアポロ像」地平線 9月號
- 久保勉「プラトンの教育論」東北帝國大學法文學部十周年記念「哲學論集」中
- 松本正夫「述語論理の諸特性」哲學（三田哲學會）13
- 青木巖「ギリシヤの所謂自然學者について」哲學（三田哲學會）14
- 前田鷹衛「アリストテレスに於ける論理的可能性について」哲學論叢（東京文
理大學大塚哲學會）1
- 田中美知太郎「Substantia」哲學論叢（東京文理大學大塚哲學會）2, 6
- 林（矢板）竹二「プラトンの場所」文化2-1
- 出隆「ギリシヤ人の人間觀」理想社版・人間學講座4（「人間の宗教的歴史的
考察」）
- 出隆「希臘人の靈魂」哲學雜誌575, 576, 577
- 川田熊太郎「プラトンの認識論」哲學雜誌582
- 松本厚「プラトンに於ける全體と有」哲學雜誌583
- マルセル・ド・コルト／萩原増雄譯「アリストテレスの叡知説」哲學雜誌585
（参考：哲學茶話會發表、哲學研究226
三井浩「エロースとヌース」）
- 西谷啓治「アリストテレスの構想論——アリストテレスに於ける哲學の概念
2」哲學研究226, 229
（参考：京都帝國大學文科卒論、哲學研究227
小安三平「プラトンの辯證法」
多賀瑞心「アリストテレスに於ける人間の形成」
三輪文夫「アレキサンドリア學派」
山田潤二「ソクラテスに就いて」）
- 長澤信壽「プラトーンに於ける認識への道——「テヘアエテーツス研究」
哲學研究229, 231
（参考：哲學・宗教學茶話會、哲學研究232
長澤信壽「プラトーンに於ける「混合」に就いて」
ニコライ・ハルトマン／服部英次郎譯「プラトン哲學に於けるアプリ
オリスムスの問題」哲學研究

- 田中修一「偉大なる公民の師ソクラテス」信濃教育585
- 山内得立「ロゴスと「精神」」信濃教育585
- 文檢参考・越山信吉「修身豫備試験問題及答案(2)——「ソクラテスの倫理説を述べよ」」教育論叢34-5
- (参考：廣島文理大學卒論、教育學研究5-2)
- 早川忠雄「プラトンの國家教育論——ポリティアを中心として」
- 秋澤修二「デモクリトス」唯物論研究35
- 波多野通敏「アリストテレスの哲學必要論」大崎學報86
- 波多野通敏「ソクラテスの信仰」智山學報(新)6
- 波多野通敏「ソクラテスの信仰」神學研究26-2
- 高松孝治「新約聖書の用語變更について」神學研究26-6
- 神田盾夫「パピルス資料二つ」宗教思潮2-1
- 瀬川三郎「デメーテル祭り」アルト10月號
- 瀬川三郎「ギリシヤのおまつり」帝國教育666
- 瀬川三郎「ギリシヤの教育」教育3-8
- (参考：三田史學研究會例會報告、史學14-2)
- 山本光雄「ソクラテスの靈魂觀」)
- (参考：西洋史讀史會、史學雜誌542)
- 原種行「中世に於ける宇宙論の一考察」)
- 葉上照澄「希臘道德思想史の意義とその構造」大正大學學報20
- 北吟吉「國民主義の道德」理想53
- 理想55中——
- 高山岩男「宇宙に於ける人間の地位」
- 金子武藏「歴史と人間」
- 理想59中——
- 田邊元「存在論の第三段階」
- 石山脩平「教育と哲學」(プラトン)
- 高坂正顯「樂觀哲學と悲觀哲學」
- 蔭山庄司「要約・西洋倫理學史」文檢世界21-4, 5, 6
- 石丸悟平「創造哲學概論」(ギリシヤ唯心論を含む)人生創造12-11
- 時評「空樽の哲人・當代のディオゲネス」人生(帆足理一郎個人雜誌)5-1
- アラン／桑原武夫譯「靜觀的なるものについて」四季7
- 秋澤修二「氏族宗教、民族宗教の世界宗教への歴史的發展過程」歴史科學4-1
- (参考：研究室彙報「宗教學會」、大谷學報16-1)

- (學生) 香川義丸君「アウグスチン時代の罪惡感について」
- 小島威彦「神話の試論」國民精神文化1-1
- 中山昌樹「聖アウグスティヌスの「神の國」の根本思想——特にその歴史哲學的意義に就て」開拓者347
- 船山信一「哲學の効用」(ソフィスト、ソクラテス等)帝國大學新聞578
- ④川田熊太郎「オーギュスト・ディエスのプラトン解釋」哲學雜誌584, 585, 586
- 務臺理作「ヘーゲル精神現象學と論理學との關係に就いて」哲學論叢1
- 伊藤源一郎「キェルケゴールのソクラテス的なるもの於ける實存哲學的概念」
哲學論叢2
- 五百旗頭眞治郎「碩學中の聖者トマス・アクイナス」神戸商業大學創立三十周年記念論文集
- 文檢參考・越山信吉「西洋倫理學史講義の解説」教育論叢34-6
- 理想52中——
- 批評と紹介「久保・阿部譯「プラトン對話篇・饗宴」
- 批評と紹介「甘粕石介「ヘーゲル哲學への道」
- 批評と紹介「ディルタイ／藤平武雄譯「歴史と生の哲學」
- 山本英一「ハイデッガーの認識論」理想54
- 理想61中——
- 高橋敬視「存在論の基礎——ニコライ・ハルトマンの近業」
- 批評と紹介「桑木嚴翼「西洋哲學史概説」
- 批評と紹介「得能文「哲學概論」
- 批評と紹介「由良哲次「人生觀の問題」
- 乙竹岩造「ディルタイの教育學說」教育學研究3-11
- 垣下清一郎「ウィルヘルム・ディルタイの教育學的諸論文」教育學研究4-2
- (參考：東京帝國大學卒論、教育學研究5-2
- 長谷山八郎「Goetheに於ける教育の宗教的基礎——「畏敬の念」を中心とせる一つの覺書」
- (參考：廣島文理大學卒論、教育學研究5-2
- 満田源作「ナトルプの社會的教育學に就いて」
- 白根孝之「ディルタイ教育學史及概論」教育學術界72-1, 3
- 書評「石山脩平「教育的解釋學」教育週報521
- 「ヘーゲル哲學で文學博士に」(務臺理作「ヘーゲルの精神現象學と客觀的
神の研究」)教育週報525
- 「人物の片影——務臺理作君(學位論文)」教育週報532
- 書評「小西博士全集」教育週報536

新刊・永田廣志「クーノー・フィッシャー/甘粕石介譯「ヘーゲル傳」」歴史科
學4-12

齋藤芳造「ヘーゲル哲學の黄金時代」修身教育6月號

戸坂潤「『文獻學』的哲學の批判」唯物論研究29

森宏一「ブルーノー」（唯物論者評傳）唯物論研究33

江口渙「ベルグソン哲學批判」唯物論研究36, 37

書評・青木巖「高橋誠一郎「アリストテレース」」三田評論449

龜井勝一郎「文學者と基督教的 神について」文藝7月號

(?)「エラスムス・ロツテルダム」傳記3月號

吉永十果「ギイヨーの「未來の無宗教」に就いて」日本宗教學會編・日本宗教
學會第3回紀要中

谷川徹三「否定の精神について」新潮1月號

上田辰之助「トマスとラスキン」文檢世界21-6

朝吹磯子「ラスキン文庫」心の華39-3

馬場啓之助「ジョン・ステュアート・ミル論」社會評論8月號

吉田絃二郎「エマースンと實生活」年20-5

三木清「ニーチェと現代思想」經濟往來3月號

篠井英夫「ニイチェ文獻（出版時評）」經濟往來5月號

小口優「ニイチェと獨逸文藝學」早稻田文學（第3期）2-6

茅野蕭々「ニイチェの思想輪郭」月刊・文章講座1-4

高沖陽造「ニイチェ及びベルグソンの思惟と近代思想」世界文化6

パウル・ホーニックスハイム/村岡述「テエヌ、ベルグソン、ニイチェに關す
る最近の研究」世界文化9・10（合）

新島繁（野上巖）「ニーチェ主義とマルクス主義ニーチェ批判のための一試論」
社會4-6

新島繁（野上巖）「高沖陽造著「ニイチェと現代精神」」社會4-7

江口渙「ベルグソンとニイツチェ」行動3-7（「向日葵之書」中）

フランツ・メーリング/山田重助譯「ニーチェ論」先驅1-1

ホニグスハイム/福岡三郎譯「現代に於けるテエヌ、ベルグソン及びニーチェ」
先驅1-3

和木 三郎「エーリッヒ・ポダッハの「ニイチェ研究」を読む」文藝通信
3-9

加藤信也「ニイチェとペーテル・ガスト——Podachの《ニイチェ研究》にる」
三田文學10-9

- 生田長江「ニイチェとトルストイとの對照」日本評論10-12
- 森戸辰男「著名社會主義者の對基督教態度に關する告白」(幸徳秋水「基督抹論」)月刊大原社會問題研究所雜誌2-4
- 吉井勇「英雄待望論(鶴見祐輔著)」(同「娑婆風流」中「身邊雜記」所収)
- 新刊「上田辰之助「トマス・アク井ナス」」法律時報7-12
- 沙翁「人心の危機(ルークリースの一節)」聖化105
- 新刊「上田辰之助「トマス・アク井ナス」」(新)宗教研究12-1
- 新刊「J. S. Newberry, The Rainbow Bridge, 1934」(ギリシャ等)(新)宗教研究12-1
- 新刊「モンテーニュ/關根秀雄譯「隨想錄(一)」」(新)宗教研究12-4
- 新刊「佐野勝也「使徒パウロの神秘主義」(ヘレニズム等)(新)宗教研究12-6
- 鈴木弘「絶對者の辯證法——法の形而上學と機の認識論」大谷學報16-1
(参考:研究室彙報「哲學研究室」、大谷學報16-1
前田秀一郎「ヘーゲルに於ける「眞なる者」」)
- 紀平正美「愛知か自謙か歸依則行善乎」(ソクラテース、アリストテレーズ、ソフィスト、アポローン、ダイモーン等)國民 神文化1-1
- 新島繁「高沖陽造著「ニイチェと現代精神」を評す」社會4-9
- 岡田純二「ニイチェとキリスト教」法文論叢(九大法文學會)20
- 増田廉吉「幕府時代に於ける外來思想取締と洋書輸入に對する取締狀況」長崎談叢16
- 關谷謹之助「オックスホードの學界——西歐哲學倫理研究の素圖」道德教育4-5

—— W. D. Ross, The Works of Aristotle

「新刊書目」、哲學研究226 ——

Augsustinus : E.Deinker, Die Anthropologie Augustins, Stutt., W. Kohlhammer

E. Przywara, Augustinus, die Gestalt als Gefüge

M. Grabmann, Studien ü. d. Einfluss d. aristotel.Philos. auf mittelalterl. Theorien ü. d. Verhältniss v. Kirche u. Staat, München

Philo Alexandrinus : W.Knuth, Der Begriff d. Sünde bei Philon v. Alexandria

Plato : H.G.Gadamer, Plato u. die Dichter

Socrates : H.Kuhn, Sokrates, Ein Versuch ü. d. Ursprung d. Metaphysik, Bln., Vlg.d.Runde

「雜誌要目」 ——

C.R.Morris, "Plato's Theory of the good man's motive", Proceedings of the Aristotelian Society, N. S. vol. 34, 1933-34

W. Theiler, "Die grosse Ethik und die ethiken des Aristoteles", Hermes Bd. 69, Ht. 4

〔新刊書目〕、哲學研究227 ——

Augustinus : Confessionum libri XIII, post P.Knoell dit, curis ed. M. Skutella, Berl. u. Lpz. Teubner

R. Joliver, Dieu, soleil des esprits, ou la doctrine Augustinienne de l'illumination, Paris, Desclée de Brouwer

Clemens Alexandrinus : Werke Bd. 4, Tl.I, Register, Citatenreg, Testimonierung, Intienreg. f. d. Fragmente, Eigenamenreg, Lpz., Hinrichs

Platon : R. von Schelina, Dion, Die platonische Staatgründung in Sizilien, Lpz., Dieterich

〔新刊書目〕、哲學研究228 ——

Aristoteles : Athenian Constitution, Eudemian Ethics, Rhetorica ad Alexandrum and Vices & virtues. tr. by H. Rackham
Metaphysics, Bks. X-XIV. tr. by H. Treanick and ,
Oeconomica & Magana moralis, tr. by G. Cyril Armstro
On the soul, Parva naturalia , on breath, tr. by W. S. Hett
(The Loeb Classical Library) Lond., W. Heinemann

Philo Alexandrinus : Works. tr. by F. H. Colson, vol. 6 (Loeb Libr. no. 289) Lond., W. Heinemann

Plato : The Republic. tr. by Paul Shorey vol.2, Bks. VI-X (Loeb Libr. no. 276) Lond., W. Heinemann

Sextus Empiricus : Works. tr. by R. G. Bury (Loeb Libr. no. 291) Lond., W. Heinemann

〔雜誌要目〕 ——

Die Antik, Bd. 11, Ht. 1 :

L. Binswanger, "Heraklits Auffassung des Menschen"

〔新刊書目〕、哲學研究229 ——

Aristoteles : Metaphysica, Recogn. W. v. Christ. Nova impr. correctior, Lpz., Tebner

S. Moser, Z. Lehre v. d. Definition bei Arist. Tl. I : Organon u. Metaphysik, Innsbruck, Rauch.

- C. Bailey, Religion in Vergil, Oxf. U. P.
- Heraklitus : O. Gigon, Unters. z. Heraklit, Lpz., Dieterich
- Platon : J. Bannes, Platon, D. Philos. d. heroischen Vorbilder, Berl., W. de Gruyter
- F. M. Cornford, Plato's Theory of Knowledge, Lond., Kegan Paul
- H. Neugebauer, Platonische Mystik, München, Barth
- Plotinus : Essence of Extr. fr. 6 Enneads. Based on tr. by S. Mackenna, with appendix giving some most important Platonic & Aristotelian sources on which Plotinus drew, and an annotated bibliogr. compl. by E. H. Turnbull, Oxf. U. P.
- 雑誌フランツ・マリア・ラタデチエク「トマスによる存在の種々の意味」(アリストテレス、プラトン、アウグスティヌス等) 哲學研究230
 「新刊書目」、哲學研究230——
- Aristoteles : J. Drechsler, Die erkenntnistheoret. Grundlagen u. prinzipien d. Aristotel. Didaktik, Berl., Junker & Dünnh
- Demokritus : H. Langerbeck, Doxis epikureismus, Stud. z. Demokrits Ethik u. Erkenntnistheorie, Berl., Weidemann
- W. K. C. Guthrie, Orpheus and Greek religion, Lond., Methuen
- 「新刊書目」、哲學研究231——
- Aristoteles : Acht Bücher physik. Gr. u. m. Anmerk. v. C. Prantl. (1854) Unveränderte Neuausg. 1935
- O. Kern, D. Religion d. Griechen, Bd. 2, Berl., Weidemann
- Plotinus : J. Barion, Plotin u. Augustinus, Unters. z. Gottesprobl, Berl., Junker u. Dünnh
- 「雑誌要目」——
- Hermes Bd. 70, Ht. 1 :
- C. Ritter, "Unterabteilungen innerhalb d. zeitlichen ersten Gruppe plato. Schriften"
- H. Fränkel, "Griech. Bildung in alter u. neuer Zeit, II"
- 「新刊書目」、哲學研究232——
- Aristoteles : I. Madkour, L'Organon d'Aristote dans le monde arabe, ses traductions, son étude et ses applications, Paris, Vrin
- 「新刊書目」、哲學研究233——
- J. Gredt, D. aristoterisch-thomistische Philos. Bd. 1 : Logik u. Naturphilos. Freiburg i. Br. : Herder, XI

Platon : N. Hartmann, Das Problem des Apriorismus in der Platonischen Philosophie, Berl., W. de Gruyter

Socrates : K. E. Girsberger, Sokrates v. Athen, E. Studie, Graz : Truppe

「新刊書目」、哲學研究234 ——

Plotin publ. par Eustochius, Paris : E. Leroux, pp. XII

Philo Alex : H. Willms, Eikon, E. begriffsgesch. Unters. z. Platonismus, Tl., 1 : Philon Alexandria, mit e. Einl. u. d. Zwischenzeit, Münster i. W., Aschendorff

N.A. Robb, Neoplatonism of the Italian Renaissance, Lond., Allen & Unwin

「雜誌要目」 ——

W. Schadewaldt, "Homerische Szenen, I : Hektor und Andromache", Die Antike Bd. 11, Ht. 2

A. Körte, "Hermann Usener—Ulrich von Wilamowitz-Moellendorff, Ein Briefwechsel", Die Antike Bd. 70, Ht. 2

H. Rudiger, "Georges begegnung mit der Antike", Die Antike Bd. 70, Ht. 2

「新刊書目」、哲學研究235 ——

Augustinus : H. Barth, D. Freiheit d. Entscheidung i. Denken

Augustins, Basel, Helbing & Lichtenhahn

A. Darmet, Les notions de raison séminale et de puissance obéissante chez St. Augustin et St. Thomas d'Aquin, Paris, Vrin

E. Hoffmann, Platonismus u. Mystik im Altertum, Heidelb., C. Winter

Plutarch : Le peri tou prosopou de Plutarque, Texte critique, traduction et commentaire, Paris, Belles Lettres

「新刊書目」、哲學研究236 ——

Aristoteles : Physics, with intrd. and commentary by W.D. Ross, Oxf., Clarendon Press

Cassiodorus : Institutiones divinarum et saecularium litterarum, Ed. fr. the MSS. by R.A.B. Mynors, Oxf. Clarendon Press

Hermes Trismegistus : Hermetica, The ancient Greek and Latin writings which contain religious or philosophic teachings ascribed to Hermes

Trismegistus. ed. with translation and notes
by the late W. Scott. vol.4 ; Testimonia,
appendices and indices. completed by
A. S. Ferguson, Oxf. Clarendon Press

R.W.Livingston, Greek ideas and modern life, Oxf. Clarendon Press

Plato : R. L. Nettleship, The Theory of Education in Plato's Republic,
with an introd. by Spencer Leeson

Max Wundt, Platons Parmenides, Stuttgart, Kohlhammer

「新刊書目」、哲學研究237 ——

Cyrrillus Alexandrinus : Des hl. Kirchenlehres Cyrillus v. Alexandrien
ausgewählte Schriften, aus den Griechischen
übers. v. Bardenhewer, München, Kösel &
Pustet

E. Gilson, The Spirit of mediaeval philosophy, tr. by A. H. C. Downes

J. Gretd, D. aristotelisch-thomistische Philosophie, Bd.2, Br., Herder

Plato : G. R. Morrow, Studies in the Platonic Epistles, with a transl. &
notes, Urbana, univ. of Illinois

Pythagoras : L.Deubner, Bemerkungen z. Text d. Vita Pythagorae d.
Jamlichos. Berl., W. de Gruyter

Vorsokratiker, D.Fragmente u. Quellenberichte, über. u. eingel. W.
Capelle, Lpz., Kröner

Zeno of Elea, A texte and notes by H. D. P. Lee, Cambr., U. P.

關谷謹之助「觀念論の擡頭——英國哲學界の現状」帝國大學新聞558, 559, 560

「停年教授を語る (2)」(桑木嚴翼教授著作) 帝國大學新聞560

「アク井ナス研究」(上田辰之助著) 帝國大學新聞561

「ギリシャ哲學研究で新文博」(廣島文理大・山本幹夫助教授「哲學に於ける
プラトン主義とアリストテレス主義との二路」)
帝國大學新聞576

海外大學の横顔・關谷謹之助「オックスフォード——胡桃の森に古典の園、理
想主義は遷る」帝國大學新聞588

大島豊「魅力ある神學——佐野勝也氏の博士論文「使徒パウロの神秘主義」
(ヘレニズム文化等) 帝國大學新聞594

舟木重信「ニーチェの新研究——高沖陽造氏著「ニイチェと現代精神」」帝國
大學新聞596

カレント・ブック・石原謙「山本英一氏譯「ディルタイ・世界觀の研究」」帝

C. ②山中經譯註『ギリシヤ史』（世界の歴史・第2）

松本卓夫『パウロ書翰概論』

本田淺治郎『文化的に見た西洋史』

矢部周藏『編年體・西洋史觀』

瀨川秀雄『西洋通史』（上中下、→昭11新訂増補）

原隨園『新義・西洋史』（現代史大系13）

平井儀平『西洋史講』

内藤智秀『史學概論』

千代田謙『西洋近世史學史序説』

原田三夫編『三百六十五日其日に因んだ、子供に聞かせる偉人の話』（6/9
「アレキサンダー大王」「アクチウムの海戦」）

野村佐一郎『世界各國史』

藤澤基一『上古・近世西洋裏面史』

クラアチ著／石川千代松・中目尚義譯『人間の歴史』

ベルンハイム著／坂口昂・小野鐵二郎譯『歴史とは何ぞや』（岩波文庫）

③ベアリング／花田鐵太郎譯「アレキサンダーの死」（「蟬こそ幸なれ」中）

徳重淺吉「羅馬興隆の所以を論ず」立命館三十周年記念論文集2冊「文學篇」中
（参考：大塚史學會記事・春季講演會、史潮5-2

村川堅太郎「希臘史に於ける自然」）

村川堅太郎「ギリシヤ都市國家に於ける市域とその周圍——特に初期の状態
について」史潮5-3

トルストイ／春秋社譯「カルタゴ破壊せざるべからず」（春秋社版「トルスト
イ全集」13中）

橘忠衛「ジュウリウス・シイザア」文化2-3, 7, 12

（参考：三田史學研究會例會報告、史學14-2

島田久吉「ローマ人の都市生活」）

島田久吉「羅馬人の都市生活」史學14-2, 3, 4

（参考：東京帝國大學文科卒論、史學雜誌542・帝國大學新聞562

秀村欣二「羅馬帝政初期アレキサンドリヤに於けるギリシヤ人のユダヤ人排
斥問題考」）

（参考：史學會近事（史學會大會記事）・西洋史部會、史潮5-2・史學雜誌548

秀村欣二「古代アレクサンドリヤのユダヤ人問題」

祇園寺信彦「ローマ帝國軍政史の發展とセプテムス・セエルス」

(ローマ帝國軍政上に於けるSeptimius Severusの地位))

祇園寺信彦「皇帝Septimius Severusの出現考」西洋史研究7

(参考:西洋史読書會、史林20-1)

若木禮「希臘人の殖民觀」

若木禮「希臘人の殖民觀」經濟論叢41-2

板橋勉「羅馬古代社會に於ける奴隸制度」歴史學研究3-4

栗野頼之祐「ツェノオン草紙文書」史學研究7-1, 2, 3 (同氏「ツェノオン草紙文書に現はれたる麥酒事件」の掲載紙、掲載号不明。→昭25「出土史料によるギリシア史の研究」参照。)

倫敦・オブザーバー紙「古代希臘の速記術」新青年16-3

小林行雄「ミケーネに於ける古墳の發掘」考古學雜誌26-9

發見と發掘「ローマ劇場發掘」(時事新報8月2日付?)歴史公論4-10

岡田大尉「死都ポンペイに學ぶ」救世軍士官雜誌25-1

神田盾夫「「ヘレニスティック」という時代」(未發表、1976年刊・神田盾夫著作集2中)

辰巳經世「奴隸制度と原始キリスト教」唯物論研究27

メーソン「ローマが減び日本が亡びぬ譯」教育週報549

稻垣了俊「宗教傳播に於ける地理的制約——基督教を中心として觀たる」(羅馬時代)(新)宗教研究12-6

④太田廣「昨年に於ける史學界展望——西洋史學界」史潮5-1

書評「三浦藤作「國史中心統合世界全史」」教育週報504

書評「大類伸「西洋史新講」」史學雜誌544

書評「内藤智秀「西洋史概説」」史學雜誌544

書評・近山金次「内藤智秀「西洋史概説」」史學14-1

後藤末雄「ヴォルテールの史學的業績」史學14-3

務臺理作「ヘーゲル歴史哲學に於ける精神的世界の構造」哲學論叢2

内外傳記資料紹介「ミリヤム・アライ著「クレオパトル」(Miriam Harry)」傳記5月號

紹介・平塚博「A. Brackmann「獨逸皇帝時代の國家政策に対する「ローマ復活思想」の意義」西洋史研究7

森脇貞二「羅馬史論」(マキャヴェリ)西洋史研究8

紹介・祇園寺信彦「Ellinger「マキャヴェリの國家理論に於ける資料としての古代」西洋史研究8

- 書評「原隨園博士著「新義・西洋史」」京都帝國大學新聞227 (8/6)
- 新刊「内藤智秀「西洋史概説」」文化2-1
- 學界消息「クナウルの新世界史」文化2-2
- 新刊「Knaurs Weltgeschichte, 1935」文化2-4
- 新刊「原隨園「新義・西洋史」」文化2-8
- 新刊「原隨園「新義・西洋史」」史苑9-2
- 紹介「大類伸「西洋史新講」」史林20-1
- 紹介「内藤智秀「西洋史概説」」史林20-1
- (参考：西洋史讀書會、史林20-1)
- 井上智勇「古代ローマ史研究法の近況」
- 金子光介「ドイツに於けるギリシヤ愛護主義の運動に就いて」史林20-2
- 鈴木成高「封建時代の起源と本質」史林20-2, 4
- 紹介「原隨園「新義・西洋史」」史林20-2
- 紹介「The Cambridge Ancient History, vol.X, The Augustan Empire 44 B.C.-A.D.70」史林20-2
- (参考：西洋史讀書會、史林20-2)
- 仲野彌壽治「W.E.Heitland, The Roman Republic」
- 紹介「Wilhelm Hoffmann, Rom und die griechische Welt im Jahrhundert (Philologus, Supplementband XVII, Heft 2)」史林20-4
- 讀井鐵男「十九世紀獨逸史學史の一駒——所謂「プロシヤ派」に關する一考察」史淵10
- 伊豆公夫「日本史學史」歴史科學4-5, 6, 7, 8
- 書評・(定金)「M. Rostonzeff, Excavation at Dura-Euiropos」史觀8
- (参考：會報「東洋・西洋史全會」(75教室)、史觀8)
- (校友)十河祐貞君「ヘルデルの人文主義について」
- エルヴィン・セーレ「ヘルデルと三教養世界」エルンテ7-4
- 吉田學「ヘルデルについて」(オイケン、キューネマン等)エルンテ7-4
- 千代田謙「ヘルデル、シュレーゲル、ヘーゲルの世界史相」史學研究6-2
- 書評・渡邊鼎「F. B. Marsh, A History of Roman World from 164 to 30 B. C., 1934」史學研究7-1
- 書評・渡邊鼎「Greenidge & Clay, Sources for Roman History B. C. 133 — 70」史學研究7-1
- 向井章「ギユスタアヴ・グロツ教授逝く」山口高商雜誌6-3
- 書評・有賀鐵太郎「石原謙「基督教史」」基督教研究12-2
- 田邊元「クォ・ワチス」文藝春秋4月號

若園隆夫「フムボルト研究」教育心理研究3月號

森田鐵次「明治前期に於ける教育の發達と國史(二)」(ダニール萬國史、パー
レー萬國史、スウィントン萬國史、ウィルソン萬
國史、ギゾー歐洲文明史、バックル文明史、ギリ
シャ・ローマ史學理論等)滿鐵教育たより14

堀江齋太郎「新聞記者判別式」(クレオパトラ、アレキサンダー等)現代新聞
批判31

新刊「石原謙「基督教史」(新)宗教研究12-1

新刊「J.Hackin, L'Oeuvre de Délégation Archéologique Française et
Afghanistan (1922-33) 1933」(新)宗教研究12-1

辰巳經世「「古代社會論」批判」歴史科學4-5

「雜誌要目」、哲學研究226 ——

F. Frahm, "Neue Wege zur Textkritik von Tacitus'Germania",
Hermes Bd. 69, Ht. 4

「雜誌要目」、哲學研究231 ——

A. Boethius, "Das Rom d. Caesaren", Die Antike Bd. 11, Ht. 2

「雜誌要目」、哲學研究234 ——

F. Matz, "Die Kretisch-mykenische Kunst, Form und Entwicklung"

「新刊書目」、哲學研究235 ——

E. Meyer, Grundzügen d. Gesch. d. röm. Kaiserzeit, Vortr., Zürich,
Leemann

「雜誌要目」、哲學研究237 ——

M. Gelzer, "Die Glaubwürdigkeit der bei Livius überlieferten
Senatsbeschlüsse über römische Truppenaufgebote",
Hermes Bd. 70, Ht. 3

原種行「原隨園博士著「新義・西洋史」」帝國大學新聞580

カレント・ブック・大類伸「フリーデル・近世文化史」帝國大學新聞602

山中讓二「思想と事實 —— 西洋近世史學史序説」(千代田謙著)帝國大學新
聞605

D. ①ホメーロス作/土井晚翠譯『オヂュッセーア』(第1-6卷、手稿本)

編輯部選「ソフォクレス「アンチゴーネ」」(解説)むらさき11月號

こども室「家庭イソップ」家庭5-1, 2, 3, 4, 5

②ベアリング作/花田鐵太郎譯『蟬こそ幸なれ』(「希臘の壺」)

森山啓『文學論』(「ギリシャ藝術の魅力について」)

- 隈部逸人譯『希臘の風』（伊太利亞譯詩集）
- 永井一夫『學名中心羅典語法』
- 若目田武次撰『ラテン語階梯』
- 立花國三郎『ラテン文法』
- 山崎謙『解釋學概論』（第一章「解釋學の歴史」第三章二節「解釋と古典主義」
「古典とアカデミー」）
- 輿水實『言語哲學』（第1部「言語哲學の歴史」）
- 大西昇『美學及藝術史』
- 石躍信夫『ダンテの詩』
- ニーチェ著／生田長江譯『悲劇の出生』（「ニーチェ全集」第1卷）
- ニーチェ著／野中正夫譯『悲劇の誕生』
- ニーチェ著／新關良三解説・註釋『音樂の精神からの悲劇の誕生』
- 本間久雄『明治文學史』（上、經國美談、西周等、日本文學全史10）
- 柳田泉『政治小説研究』（上中下、「經國美談」→昭14）
- 柳田泉『明治初期の翻譯文學』（明治文學叢書）
- ヂョージ・メレディス著／相良徳三譯『喜劇論』（岩波文庫）
- 世界音樂社編『音樂史』（初等音樂講座2）
- 乙骨三郎『西洋音樂史』
- 門馬直衛『西洋音樂史——古代から第18世紀まで』
- ダンテ作／黒田正利譯『神曲』（大思想家文庫7）
- 奥津彦重『ゲエテ』（序論）
- クローチェ著／早乙女龍雄譯『ゲエテ』
- T・マン著／阿部六郎譯『ゲエテ』
- ヘルデルリン作／陶山務譯『思索するヒュペリオン』
- ディルタイ著／服部正巳譯『體驗と文學』
- ラスキン著／石田憲次・照山正順譯『胡麻と百合』（岩波文庫）
- ラスキン著／本間立也譯『胡麻と百合』（春秋文庫）
- A. モーロワ著／木村毅譯『バイロン』
- 高沖陽造『歐洲文藝の歴史的展望——ダンテからゴッティケーまで』
- ③ モーパッサン／秋田滋譯「羅甸異聞」（「モーパッサン傑作短編集」1中）
- 小林市太郎「古代及び中世の西洋美術に對する東方の影響に就て」哲學研究
233, 234, 237
- 上田忠雄「イソップ考」信濃教育589
- 所勇「イソップ寓話と小學校國語讀本」學習研究3, 4月號
- 淺田勇「國外類型二つ」（イソップ寓話）昔話研究1-4

- シェリング／松下武雄譯「藝術哲學」コギト32, 37, 38, 39
 松下武雄「作家に於ける體驗の問題」コギト38
 新關良三「古代希臘の喜劇論」アルス11月號
 土居光知「プロメテウス劇の研究」英文學研究3
 岡本貫瑩「アフガニスタンの佛教藝術」歴史公論4-11
 蘆谷重常「世界童話史」(日本童話協會編「童話史」(総合童話大講座)中)
 藤島亥次郎「修理されたるパルテノン」建築雜誌597
 蘆澤常三「ギリシヤ藝術について」文學評論2-5
 番匠谷英一「「カレーの市民」と「アンチゴネー」」むらさき5月號
 グリルバルツェル「サッフォー」むらさき9月號
 中村星湖「孔子・ホーマー・鈞」雄辯7月號
 田盾夫「ヘレニスティク時代文學の概観」ギリシヤ語聖書研究2-6
 田盾夫「ヘレニスト時代ギリシア語」(小倉進午編「藤岡博士功績記念・言語學論文集」中)
 重久篤太郎「西洋語と國語」明治書院版・國語科學講座12
 ④渡邊千枝「キーツ「ギリシヤ古甕の賦」Ode On a Grecian Uru」文部省圖書館
 講習所學友會・學友會雜誌5
 紹介「A. Shewan, Homeric Essays, 1935」史林20-4
 永見達「ラオコオン群像」詩精神2-3
 アンドレイ・ガボル「良きゲーテ全集」(小説)進歩5月號
 トーマス・マン「ゲーテとトルストイ(二)」會社5月號
 島崎藤村「ゲーテ全集を薦むるの辭」東京朝日新聞6/28
 生田長江「ニイチェとゲエテ及び劇的なもの」東京朝日新聞12/27, 28, 29,
 30, 31
 相良守峯「古典主義時代——ゲーテ及びシルレル」むらさき3月號
 永松讓「ファウストの生的感情」エルンテ7-4
 菊池榮一「ゲーテとシルレルの文通」エルンテ7-4
 佐藤熊次郎「フンボルトの言語形式と國語教育」教育週報2, 4, 5月號
 石中象治「ゲーテの言葉」月刊・獨逸語ゼミナール4, 5月號
 竹内英之助「ゲーテ及びシェリングの著作に現はれたる普遍的精神」獨逸文學6
 T. E. ヒューム／小川和夫譯「ベルグソンの藝術理論」生活1(創刊號)
 輿水實「文獻學と解釋學」(近代ドイツ、ヴォルフ、ベーク、ドロイゼン、リ
 ッチェル等)コトバ5-1, 2, 3
 輿水實「ベーコンの言語觀——ニイチェ批判のための一試論」社會4-6
 學界消息「ヴルフリオン記念論文集」文化2-12

新刊「高沖陽造「歐洲文藝の歴史的展望」」文學評論 2-3

新研究論文抄・T. NAKANISHI「TourneurのImagery——SAMSON

AGNISTES に於ける希臘精神」アルビオン 3-3

淺香正孝「ShelleyとGodwin」(プラトン) アルビオン 3-4

深瀬基寛「アーノルドの文學論」(矢野峰人著) アルビオン 3-4

高橋久「Browningの“Aristophanes' Apology”」アルビオン 3-5

矢野禾積「アーノルドの文學論」臺北帝國大學文政學部・文學部研究年報 2

細井次郎「アーノルトとニューマン」カトリック 15-11, 12

柳田泉「佳人之奇遇」國語と國文學 10月號

兒童讀物研究會審査會推薦圖書「イソップ物語」滿鐵教育たより 7

米原穰「文學研究方法の近情——獨逸文學の展開に關するノート」國民文化

1-2

「雜誌要目」、哲學研究226——

F. Solmsen, "Euripides' Ion im Verleich mit andern Tragödien",

Hermes Bd. 69, Ht. 4

R. Keydell, "Zwei Stücke griechisch-ägyptischer Poesie", Hermes Bd.

69, Ht. 4

「新刊書目」、哲學研究227——

Aeschylus: W. Nestle, Menschl. Existenz u. polit. Erziehung in d.

Tragödie d. Aeschylos, Stutt., Kohlhammer

「雜誌要目」、哲學研究228——

H. Herrmann, "Forderungen musischer Erziehung bei Schiller und

Plato", Zeitschrift für Aethetik und Allegemeine

Kunstwissenschaft Bd. 29, Ht. 1

O. Weinreich, "Franz Schuberts Antikenlieder", Deutsche

Vierteljahrsschrift für Literaturwissenschaft und

Geistesgeschichte, Jahrg. 13, Ht. 1

Die Antik. Bd. 11, Ht. 1:

K. A. Neugebauer, "Die Athena Elgin"

F. Klinger, "Das erste pythische Gedicht Pindars"

「新刊書目」、哲學研究230——

A. M. Franklin, Le monde homérique, Essai de profophilos. grecque,

Paris, Vrin

「雜誌要目」、哲學研究231——

- W. H. Friedrich, "Zur Aulischen Iphigenie", Hermes Bd. 70, Ht. 1
「新刊書目」、哲學研究233 ——
Winckelmann : K.Kraus, Winckelmann u. Homer, mit Benutzg. d.
Hamburger Homer-Ausschreibgn.
Winckelmanns, Berl., Junker u. Dühnh
- 「雜誌要目」、哲學研究234 ——
W.Schadewaldt, "Homerische Szenen,I : Hektor und Andromache",
Die Antike Bd. 11, Ht. 2
- 「新刊書目」、哲學研究235 ——
U. v. Wilamowitz-Moellendorff, Kleine Schriften, In 6 Bden, Bd. 1,
Berl., Weidemann Th.Mommsen, Th. u. Wilamowitz-Moellendorff :
Briefwechsel, 1872-1903, Berl., Weidemann
- 「新刊書目」、哲學研究237 ——
F. A. Wolf, Ein Leben in Briefen, Sammlung besorgt u. erläutert
durch S.Reiter, 3 Bde. Stuttgart., Metzler
「雜誌要目」 ——
K. Deichgräber, "Die Kadmos-Teiresiaszene in Euripides' Bachen",
Hermes Bd.70, Ht.3
J. Wilhelm, "Das Griechentum in der französischen Literatur der
Gegenwart", Deutsche Vierteljahrsschrift für
Literaturwissenschaft und Geistesgeschichte, Bd. 13, Ht. 4
- 「濱田（耕作）講師の美術史開講」（「ギリシャ・アゼンスのアクロポリスと其
の美術」）帝國大學新聞560
内山孝一「ヴェザリウスとルネッサンス」帝國大學新聞560
芳賀檀「勝利と悲劇と（5）——ドイツ」（ギリシャ悲劇、ニーチェ等）帝國大
學新聞563
- 木村毅「柳田泉氏著「明治初期の翻譯文學」」帝國大學新聞563
通信指導「歐洲語學研究・エウローバイオン——英獨佛希臘初中高等科」帝
國大學新聞567, 585
- 渡邊一夫「モンテーニュの體臭」帝國大學新聞577
新關良三「シルレルの或る日」帝國大學新聞578
深田久彌「ゲーテのプレイ」帝國大學新聞597
竹山道雄「獨文學研究に一つの喜び——奥津彦重氏「ゲーテ序論」」帝國大學
新聞600

カレント・ブック、帝國大學新聞602

——大塚金之助「レッシング」、辰野隆「関根秀雄氏譯「モンテーニュ・隨想録」

E. ①矢田一男譯「ガイウス斷片 (PO. No. 2108 及 PIS. No. 1182) 邦譯」法學新報
45-1

船田享二譯「ユスチニアヌス帝學說彙纂第九卷邦譯」法學新報45-6, 7, 8,
10, 11, 12

②久保勉『プラトン・國家論』(大思想文庫1)

コヴァレフ著／西村雄三譯『古代社會論』

高谷道男『基督教經濟文化史』

大野信三『經濟學史綱要』(第1編1章「古代及び中世の經濟思想」)

ゴムベルク著／岡田誠一譯『批判的勘定學說史』?

ゼート&リスト著／古屋美貞譯註『經濟思想史』(上)

佐伯三郎『世界商業史綱要』

杉田金之助『羅馬法』(三版)

戸倉廣『獨逸に於ける羅馬法の繼受』?

戸倉廣『羅馬法制史概論——近代法に於ける羅馬思想の潮流』

原田慶吉『羅馬法制史序說』

原田慶吉『羅馬私法綱要』(總則、再版)

武市春男著・平田央閱『法學通論』(第三部「法律史」)

石川三四郎『不盡想望』(第13「コスモスの市民」第14「コスモポリトの使命」)

河合榮治郎『社會思想家評傳』(トマス・ヒル・グリーン等)

帝國大學新聞社出版部編『法學隨想・文化と大學』

③伊藤政寛「アテネのデモクラシー」法學研究(慶應大學)14-1

上原專祿「西洋古代及中世經濟史」東京商科大學一橋新聞部編「經濟學研究の
葉」中

田中耕太郎「自然法と世界法」廓清25-3

金子武藏「ピュシスとノモス」哲學雜誌585, 586

金子武藏「ポイエシス——歴史的社會的現實」思想163

石本雅男「羅馬に於けるSocietasの概念とその機能」法と經濟3-2, 3

石本雅男「Collegiumに於ける法人格の研究」法と經濟4-3

ヨハネス・クラウス「羅馬法とゲルマン法、その特徴的差異に就て」カトリック
15-5

高橋清吾「ギリシャ初期に於ける組織的政治思想」早稻田政治經濟學雜誌39

欄津正志「クリート島ゴルチナの刻石法典」法律時報7-1

資料「昭和十年三月施行、東京、京都、東北、九州各帝大法學部法文學部試験問題」、法律時報7-5

——・政治學史：東北（佐藤教授）科一「アリストートルの國家觀を論述すべし」學一「アリストートルの意義に於けるthe citizen 及びthe city を説明すべし」

- ・羅馬法：東大（原田助教授）1. 「儒帝法に於ける融合整理現象」2. 「Commodat um stipulatio emptio uenditio mutuum depositum は如何なる種類のContractusに屬すか」
京大（田中教授）/ 二問選擇1. 「方式書訴訟手續」2. 「ローマの取得時効制/ negotium bonae fidei stipulatio」
- 九大（武藤教授）1. 「ユスチニアヌス法典の内容を以てビザンチン法なりと爲すの所説を論評すべし」2. 「左の略解を求む。(1) nemo pro parte testatus, pro parte intestatus decedere potest (2) Leges XII Tabularum ;constitutio Antoniniana (212) ;mancipatio ;matrimonium cum manu ;contractus consensu」

柚木馨「按察官訴權論」法學論叢32-2

田中周友「古代ギリシャ法に於ける物權公示制度」法學論叢32-2

田中周友「ギリシャ法に於ける賣主瑕疵担保責任」法學論叢32-4

（参考：史學會近事（史學會大會記事）西洋史部會、史學雜誌548

武藤智雄「東羅馬か西羅馬か一特に羅馬法の進化に關して」

原田慶吉「パピルス研究四題」法學協會雜誌53-11

船田享二「カエサルの獨裁政の形式」公法雜誌1-8

山口正太郎「經濟思想史」（竹島常三郎外三名編「山口正太郎教授遺稿」中）

- ④典籍往來・淵定「プリングスハイム「羅馬法律學の爛熟と終末」法と經濟3-3
典籍往來・石本雅男「カロルスフェルト「法律解釋學に對する法制史的研究の意義」法と經濟4-6

武藤智雄「第一回國際羅馬法學會（1 CONGRESSO INTERNAZIONALE DI DIRITTO ROMANO, Bologna-Roma, 17・27/IV/1933）」法政研究

5-2

田中周友「『ローマ法大全』（Corpus Iuris Civilis）其他の新たな英譯」法學論叢33-6

峯村光郎「三谷隆正「法律哲學原理」」法學研究14-1

- 木村龜二「三谷隆正「法律哲學原理」」國家學會雜誌49-3
- 新刊批評・牧野英一「田中教授の「世界法の理論」(三卷)」法律時報7-1
- 新刊「牧野英一「法律に於ける倫理と技術」」法律時報7-2
- 牧野英一「急如律令・(3)(8)(10)」(モンテスキュー、ローマ法等)法律時報
7-3, 8, 10
- 小野清一郎「三谷隆正教授の「法律哲學」」法律時報7-4
- 新刊批評・竹村文一「牧野教授の「法律に於ける倫理と技術」(「グローチウスに於ける神と自然法」)」法律時報7-6
- 高柳賢三「ウイグモア先生について——人格と學識と事業」法律時報7-6
- 新刊紹介「戸倉廣「羅馬法制史概論」」法律時報7-7
- 書評・淵定「戸倉廣「獨逸に於ける羅馬法繼受」」法律時報7-10
- 和田小次郎「自然法學派に就て」(グロチウス等)早稻田法學14
- 淵定「ザキニーの民族精神について」公法雜誌8
- 寺田四郎「歐洲大法曹の面影(續)」法學新報45-1, 3, 5
- 海外法律事情・矢田一男「故キュック先生」(ローマ法)法學新報45-9
- 紹介「戸倉廣「羅馬法制史概説」」史林20-4
- 紹介・杉山直治郎「田中耕太郎著「世界法の理論」の梗概」法學協會雜誌53-2
- 紹介・小野清一郎「ヘーゲル主義的法律哲學の基礎づけ」法學協會雜誌53-9
- 紹介・後藤清「ラレンツ「民族精神と法」」法律論叢14・5・6(合)
- 大島豊「現代フランス法學に於けるトマス説」法律論叢14-12
- 中館昌行「二つの「經濟學史」」?會社5月號
- 相川春喜「奴隸制的構造とコヴァレフの見解——「古代社會論」の検討」經濟評論2-4
- 不破祐俊「モンテスキューの社會學的思想」商業と經濟(長崎高商研究會)
16-1
- 上田辰之助「スコラ經濟思想における秩序と進歩」經濟學論集5-8
- 書評「Kurt Singer, Staat und Wirtschaft in Griechenland」經濟學論集5-12
- 河原政勝「國際法の基礎問題とトマス・アクイナス」同志社創立六十周年記念
論文集
中
- 大岩誠「「ベルシャ人への手紙」についての一試論」立命館三十五周年記念論
文集(法經篇)中
- 「新刊書目」、哲學研究234——
- Plato & Hegel : M. B. Foster, The political philosophies of Plato and
Hegel, Oxf. Clarendon Press
- 「雜誌要目」、哲學研究237——

Levy-Bruhl, "Une énigme de l'ancien droit roman", Annales
Sociologique, Serie C, Fasc.1

「最近の經濟史學界」經濟史研究14- 1

— J. Hashagen, Ueber die weltgeschichtliche Betrachtung der antiken
Staats- u. Sozialen, '35

「最近の經濟史學界」經濟史研究14- 6

— E. Eyre, European Civilization ; its origin and development, vol. 2, 3, '35

「アンドレアデスを悼む」(「希臘財政史」) 經濟史研究14- 6

新刊「河合榮治郎「社會思想家評傳」」經濟往來10- 9

宮下孝吉「濫觴期の「經濟史」と啓蒙思想」國民經濟雜誌59- 5

横田保之助「註經書・イェーリング「權利の爲の闘争」」月刊・獨逸語ゼミナール 1, 2, 3, 4, 5月號

東大圖書館藏書巡禮「ユゴー・グロチウス全集」帝國大學新聞574

高柳賢三「ウイグモア先生の人格と業績」(比較法律史、メーン、クーランジュ等) 帝國大學新聞575

F. ②大村雄治『藥學醫學ラテン語教科書』

杉井善雄・清水藤太郎『藥學ラテン語』

森優・小林榮三郎『解剖學名ヲ中心トセル醫學生ノ「ラテン」語法』

木良吉『洋裁必携・西洋衣服の變遷』(染織叢書18、第2編「上古期」第4「クリートの服装」第5「ギリシヤの服装」第6「ローマの服装」)

小林商店編『齒磨の歴史』

今村嘉雄『體育概史』

小倉金之助『數學史研究』(第1輯第1部「世界數學史の展望」)

石井友幸・石原辰郎『生物學』(「アリストートルその他の生命觀」)

佐藤昌介・稻田昌植『世界農業史論』

竹内時男『科學精神講話』(第2講「フィジカのアリストテレス」第3講「ユーリカのアルキメデス」)

大島鎮治『新理科教育概論』(第五章一「古代科學及科學教育」)

③岩波講座「數學」9中——

河野伊三郎「數學思想史管見」

田邊元「數學と哲學との關係」

森正俊「羅馬數字の起源」英語青年72-10

上林彌四郎「ギリシヤ幾何學に於ける五大數學者——中等學校編・數學教材資料」師範大學講座・數學教育10

ソルムゼン／長澤信壽譯「數學的方法の構成に及ぼせるプラトーンの影響」哲
學研究236

(参考：會報「西洋史部會」(文學部研究室)、史觀 8

(學生) 平田寛君「イオニヤ學派を中心とする幾何學の發生」)

北野藤治郎「算術映画「ピタゴラスの定理」について」算數教育149

田邊元「古代哲學の質料概念と現代物理學——自然辯證法への一着眼點」思
想161

岡邦雄「自然科學史講座」(ギリシア・ローマ) 歴史科學 4-1, 2

定金右源二「期待される1940年——オリムピックの今昔」稻工會雜誌22

平沼良「婦人と古代オリムピヤ競技」體育と競技14-1

鈴木良徳「オリムピック主義の再検討」體育と競技14-11, 12

④新刊・桑木戎雄「岡邦雄「自然科學史講話」を読む」唯物論研究36

岡・曾田「自然科學史文獻」唯物論研究36, 38

新刊「岡邦雄「自然科學史講話(上)」勞働雜誌 1-6

兒童讀物研究會審查會推薦圖書「時計の話」(玉城肇譯) 滿鐵教育たより14

太田正雄「最近一年間の皮膚科學界瞥見」(エラスムスの病氣等) 臨床の日本
4-38

「新刊書目」、哲學研究226

O. Neugebauer, Vorlesung u. Geschichte der antiken mathematischen
Wissenschaften .Bd. I, Bln., J.Springer

「新刊書目」、哲學研究227 ——

Galemus : In Platonis Timaeum comment. fragmenta Coll., dispos.,
expl.II. O. Schröder. Append. arab. add. P.Kahle. Lpz. u.
Berl., Teubner

G. Jung, "Das Fragment der lateinischen Uebersetzung des Pappus-
Kommentars zum 10 Buche Euklids", in Quellen und Studien
zur Geschichte der Mathematik

「新刊書目」、哲學研究235 ——

Aristoteles : G.Strohm, Unters. z. Entwicklungsgesch. d. Aristotel.
Meteorologie. Lpz., Dieterich

高村英夫「岡邦雄氏「自然科學史講話」」帝國大學新聞597

カレント・ブック・菅井準一「A. Wolf, A History of Science, Technology and
Philosophy in the 16th & 17th Centuries」帝國
大學新聞602

南方熊楠「蓮の花開く音を聴くこと」(古ローマ人等) ドルメン4-1

G. 篠原助市編『教育辭典』

篠原助市編『増訂・教育辭典』

C.D.S.マウソン著／大江專一譯『世界固有名詞辭典』

中央公論社版・吉江喬松編『世界文藝大辭典』(全7巻、第7巻「文學史」→
昭11)

相良守峯「文藝百般の指標——『世界文藝大辭典』」帝國大學新聞604

小林房太郎編『世界地名大辭典』(全4巻)

新刊「法律學辭典」(第一巻) 法律時報7-2

新刊「法律學辭典」(第二巻) 法律時報7-9

三省堂編輯所編『三省堂英和大辭典』(再版)

藤岡勝二編『大英和辭典』(第1, 2巻。15版)

昭11 (1936)

A. ゲーテ／竹山道雄譯「羅馬哀歌」(改造社版「ゲーテ全集」1中)

ゲーテ／相良守峯譯「第二次羅馬滞在」(改造社版「ゲーテ全集」8中)

ゲーテ著／相良守峯譯『伊太利紀行』(改造社版「ゲーテ全集」17,18)

ゲーテ／谷川徹三譯「古代と近代」(改造社版「ゲーテ全集」24中)

馬場久治『ゲーテと伊太利』

書評・小牧健夫「馬場久治著「ゲーテと伊太利」」九州帝國大學新聞12/7 (→昭
17「影ばかし」中)

恒藤恭『人間がこれまでして來た事』(日本少年國民文庫1)

新刊「恒藤恭著「人間はどれだけの事をして來たか」」現代新聞批判71

岡田正三「東洋古典と希臘古典」理想64

理想69中——

羽溪了諦「希臘文化と東洋文化の交渉」

樺俊雄「古代ギリシアに於ける諸學」

白根孝之「ヘレニズムとヘブライズム」

田中館秀三「ギリシヤの島々をめぐる」地理學4-8

嘉治瑠璃子「バルナソス」(紀行) 創造6

横光利一「歐洲の旅(二)(三)」東京日々新聞8/8, 9

(参考:彙報「倫理學讀書會」、哲學研究238

川村喜久治君「和辻哲郎著「風土」に就いて」)

新刊・玉生道經「和辻哲郎「風土」」民族學研究2

新刊「和辻哲郎「風土」」文化3-4

- 彙報「映画「永遠のギリシヤ」公開」(講演)文化3-8
 ——大類伸「ギリシヤの歴史について」
 石原謙「ギリシヤの風物」
 田中館秀三「ギリシヤの地理」
- 三浦新七「古代希臘を語る」一橋新聞233
 「セベリ(羅馬大學)教授講演要旨」(「伊太利文化」)帝國大學新聞611
 「シュベングレル逝く」帝國大學新聞625
- カレント・ブック・佐々木達「和辻哲郎「風土」」帝國大學新聞649
 芳賀檀「ナチス批判統制と文化の生理學」(ゲーテ、ヘルデルリン、ヘーゲル、
 ニーチェ、ヘルダー等)帝國大學新聞651
- 名取廣作「ローマの舊都」月刊・實踐國語教育2月號
 安倍能成「羅馬散策」日本評論11-1
- 龜井勝一郎「伊太利への旅——ゲーテ第二章」日本浪漫派2-7, 10, 11
 龜井勝一郎「羅馬における武者小路實篤」日本浪漫派2-12
- 前田河廣一郎「H. G. ウェルズ傳」改造11月號
 海外すなっぷ「シュベングラアの死」文藝通信4-6
- エミール・ファケ著/石川湧譯『讀書術』(→昭15春秋社思想選書)
 (参考:臺北帝大哲學科講義題目、臺北帝國大學文政學部・哲學科研究年報3
 哲學概論(二)(岡野)、西洋哲學史概説(淡野)、西洋古代中世哲學史
 (二)(淡野)、講讀及演習(Aristoteles, Metaphysica trs. by W. D. Ross、
 岡野)、心理學概論(飯沼)、教育學概論(伊藤)、教育史概説(福島))
 (参考:昭和十一年度大谷大學學部開講學科目及講義題目、大谷學報17-2
 西洋哲學:近世西洋哲學史(朝永)、形而上學(鈴木)、演習(Hegel; Wis-
 senschaft der Logik I、鈴木)、講讀(Hegel; Grundlinien der Philosophie
 des Rechts、西谷)倫理學:講讀(Green; Prolegomena to Ethics、立花)、
 教育學:教育學概論(阿部)、宗教學:宗教學概論(阿部)
 他:第十七八世紀の「ヨーロッパ」(時野谷)、ルネサンスの文化(鹽見)、
 言語學概論(龜田))
 (参考:昭和十一年度東京帝國大學文學部史學關係講義題目、史學雜誌558
 史學概論(今井)西洋史學概説(山中)中世初期政治史(山中)Polisノ成
 立(村川)西洋史學演習(村川)十九世紀の哲學(伊藤)西洋哲學史概説
 (出、伊藤)西洋倫理學史概説(長尾)宗教史概説(宇野)教育史概説
 (入澤)西洋美術ノ特殊問題(古代及近世、兒島)英文學史(齋藤)第十
 八世紀獨逸戲曲史(新關)等)

- B. ②ジイド作／河上徹太郎譯『鎖を離れたプロメテ』(岩波文庫)
 ディルタイ著／白根孝之譯『教育史・教育學概論』
 石山脩平『西洋教育史』(上)
 大日本學術協會編『西洋教育史』
 佐藤慶二『新哲學概論』(第1編3章「哲學の概念」)
 M.ケラー著／神代峻通譯『學としての倫理學』
 高橋敬視『倫理學原論』
 ウィンデルバント著／陶山務譯『ブレルウディエン』(上下、哲學名著叢書13、
 14)
- 齋藤响『哲學概論』?
 樺俊雄『哲學史提要』
 末松謙澄『希臘古代代理學一斑』(日本哲學全書第6)
 ツェラー著／白根孝之譯『西洋古代哲學史』2冊(附・註釋)
 古在由重『古代哲學史』(唯物論全書25、のち「初期唯物論の形成」と改題)
 岩崎勉『人間觀と世界觀』(11「アリストテレスに於ける存在論の課題」)
 桑木巖翼『哲學及哲學史研究』(「アリストテレスの判斷論」)
 後藤孝弟『ソクラテス』(西哲叢書1)
 長澤信壽『プラトン』(西哲叢書2)
 鶴見祐輔『讀書三昧』(「プレートーの懷はるる宵」)
 室伏高信『青年の書』(「プラトニック・ラブ」)
 山本光雄『ギリシア哲學者列傳』
 山本幹夫『哲學體系構成の二途——プロローギーノス解釋試論』
 久保勉『プラトン』(大教育家文庫9)
 波多野完治『ギイヨウ』(大教育家文庫24)
 山谷省吾『パウロの神學』
 小島威彦『世界創造と哲學的序曲』
 清水義樹『基督教と哲學』
 モンテーニュ著／関根秀雄譯『隨想錄』(附・西田幾多郎「推薦の辭」附)
 レイバアン著／陶山務譯『ヘゲル哲學概説』
 甘粕石介『ヘゲル哲學への道』(再版)
 ニイチェ著／生田長江譯「新譯決定版「ニイチェ全集」中——
 第2冊——『季節はずれの考察』
 第12冊——『書簡及び索引・項目別頁付(附録・ニイチェ評傳)』
 ニーチェ著／小栗孝則譯『この人を見よ』(改造文庫137)
 ニーチェ著／登張竹風譯『夜の歌』(山本文庫26)

- 立澤剛『ニイチェ・ツァラトストラ』（大思想文庫25）
 伊福吉部隆『ニイチェ愛と知慧の書』（→昭12「ニイチェ・人生哲學」と改題）
 土井虎賀壽『「ツァラトストラ」羞恥・同情・運命』
 ベルグソン著／平山高次譯『道德・宗教の二源泉』
 吉岡修一郎『ベルグソンと科學的精神』
 坂田 男『ベルグソン創造の哲學』
 マルクス・エンゲルス・レーニン研究會編／廣島定吉譯『カール・マルクス年
 譜』
 松原宏（古在由重）『唯物論通史』（第1部10節「ランゲ「唯物論史」への方法的
 批判」、のち「唯物論と唯物論史」と改題）
- ③稻富榮次郎「プラトンの「パイディア」」文化（東北帝國大學文學部）3-12
 稻富榮次郎「プラトンの音樂及び體操教育說」廣島文理大編・教育科學4
 柳田謙十郎「知と行」臺北帝大哲學科年報・第3輯（→昭23「弁証法は世界の
 倫理」に収録）
- 土井虎賀壽「ヘラクレイトスの人間解釋」（新）宗教研究13-1, 2
 廣瀬文豪「西洋哲學に於ける神の觀念」哲學改造70
 野上彌生子譯「人間が花や樹木や鳥になった話」婦人之友30-6
 原隨園「幸福の鳥」歴史教育11-1
 仁戸田六三郎「神と神々の序説」Philosophia（哲學年誌）9
 星野重顯「プラトンに於ける魂の不滅」哲學（三田哲學會）15
 松本正夫「主語論理の研究」哲學（三田哲學會）15
 前田越嶺「セネカ學說批判」哲學（三田哲學會）16
 佐野一彦「ギリシヤの自然哲學における「うつりゆき」（六世紀）」國民經濟雜
 誌60-1
- 頼阿佐夫「エピクロス」（唯物論者評傳）唯物論研究45
 小田清「プラトンの倫理學的方法」道德教育5-2
 副島民雄「プラトンに於ける理論と實踐」教育論叢35-4
 エレーヌ・ア・ヅヅラ夫人／三枝茂智譯「希臘に於ける兒童の友愛」教育論叢
 35-4
- 副島民雄「プラトンに於ける綜合」哲學雜誌588
 出隆「アリストテレスの存在學と神學」哲學雜誌589
 マクス・ヴント／副島民雄譯「M. Wundt, Platons Parmenides」哲學雜誌591
 理想62中——
 岩崎勉「哲學に於ける方法の問題」
 葉上照澄「希臘道德思想史より見たるソクラテス」

理想64中 ——

後藤末雄「歐洲思想と東洋思想との關係」

岡田正三「東洋古典と希臘古典」

後藤敏衛「哲學の創造と人間社會」理想66

理想69中 ——

出隆「理論とソクラテス」

田中美知太郎「プラトン「イデア説」の由來」

岩崎勉「アリストテレスに於ける物心關係の問題——「デ・アニマ」
を中心として」

稻富榮次郎「プロティノスにおける一者の觀照」

小塚新一郎「ソクラテスを憶ふ」

(参考：京都帝國大學文科卒論、哲學研究239

須田道雄「プラトンに於けるイデア論に就いて」)

藤井義夫「アリストテレスに於ける認識論的思想の發展」哲學研究241

樺俊雄「アリストテレスの神に就いて」大崎學報89

岡田正三「プラトン直航船」京都帝國大學新聞252 (10/20)

クルト・ジンガー「プラトンの顔」思想167

和辻哲郎「ヒューマニズムの希臘的形態——ソクラテスに於けるポリス的人
間の倫理學」思想173

吉滿義彦「プロネシス——實踐理性の性格」思想167

(参考：廣島文理大學卒論、教育學研究5-2

早川忠雄「プラトンの國家教育論——ポリティアを中心として」)

ベルンハルト／大石峯雄譯「古代希臘に於ける形而上學と身體の形態理想」教
育學研究5-7

(?)「古人に聽く——ゼノ等」ときのこゑ962

吉澤溶「アポロジイ篇を通じて見たるソクラテスの道徳的確信に就て」慶應義
塾豫科會誌16

佐藤由巳夫「ギリシヤ神話」第二早稻田高等學院・學友會雜誌14-3

文檢參考・越山信吉「昭和十一年度豫備試驗問題解答(5)——「プラトーン
の教育思想を概説せよ」」教育論叢36-1

瀬川三郎「ギリシヤで見た學校」帝國教育683

「文檢教育科の短期組織的研究」(第4章「西洋教育史の基本的研究」)文檢世
界・4月臨時大特集號

「西洋教育史」(第1章「希臘の教育」第2章「羅馬の教育」)教育學界・3
月臨時增刊號

小林喜一「ヨハネ傳研究（一）」（ヘラクレイトス、ソクラテス、フ井ロン等）
法曹公論 1月號

（参考：綜合學術講演會、帝國大學新聞624

出教授「ソクラテスの皮肉」

平野義太郎「マルクス年譜——生ける學問的生涯の記録」（廣島定吉譯）帝國
大學新聞629

桑木戒雄「自然の第一原理への考想——アリストテレスのプラトンの哲學と
の對立に就て」帝國大學新聞638

④書評「金子武藏「古代哲學史」」哲學雜誌587

中川清「キルヘルム・フォン・フンボルトの古代觀」哲學雜誌595

竹内英之助「希臘の女神像」（アルノーホルツ）エルンテ 8-1

宮西光雄「Herbert ReadのShelley辨護その他」（Plato）アルビオン 4-3

荻田庄五郎「Shelleyと基督教」（Plato）アルビオン 4-6

石山脩平「教育史研究の方法的前提」教育學研究 5-2, 3

雪山俊夫「ゲーテの教育觀に就て」富山教育275

西村稠「エマソンの哲學に於けるインスピレーション」商學22

清水幾太郎「シルレル「人間の美的教育に関する書翰」に就いて」社會學研究 2

釜田達玄「シュライエルマッヘルに於ける宗教の獨自性」ピタカ 4-3

生田長江「ニイチェの著作とその劇的傾向」（遺稿）日本評論11-2

小野俊郎「我國におけるニイチェ研究」日本評論11-5

馬場久治「ニイチェと高山樗牛」コギト54

丸田潤二郎「ニイチェに関する邦語の文獻」書物展望 6-2

大村晴雄「カール・レーヴット「ニイチェ哲學——同一なるものの永劫回歸」
哲學雜誌588

得能文「ニイチェの七傾向」丁西倫理會倫理講演集403

井上政治「ニイチェに於ける〈永遠回歸説〉の誕生と死滅の事情」文化 3-9

新刊批評・山田「クノオ・フィシャア「ヘーゲル傳」／河野正通著「ヘーゲル」
世界文化15

新刊批評・村山清「「古代哲學」に関する新刊批評、その他」（金子武藏「古代
哲學史」／古在由重「古代哲學史」／山本光雄「ギリシ
ヤ哲學者列傳」）世界文化24

新刊「金子武藏「古代哲學史」（上）」文化 3-1

學界消息「シュテンツェルトの訃」文化 3-3

新刊「Aristotle's Physics, by W. D. Ross」文化 3-4

齋藤信治「ヴィンデルバント哲學史教科書新版」文化 3-9

理想62中——

金子馬治「ニイチェ復活の意義」

鬼頭英一「ニイチェと超人思想について」

竹下直之「キェルケゴールの實存辯證法」(プラトン)

池島重信「ニイチェとキェルケゴール」

理想63中——

後藤一民「新なる批判の確立」

大江 志郎「山内得立教授の「辯證法」観について」

批評と紹介「ベルグソン／平山高次譯「道德・宗教の二源泉」」理想67

吉満義彦「新スコラ哲學の人生觀」理想68

理想69中——

批評と紹介「後藤一民「哲學の生れるまで」」

批評と紹介「大島豊「世界觀の哲學」」

批評と紹介・大江 志郎「ツェラー／白根孝之譯「西洋古代哲學史」」

海外哲學思潮「最近の西洋古代中世哲學文獻」(1934年以前分) 思想167

豊川昇譯「オイケン自傳」傳記12月號

渡邊啓一「エラスムス素描(ブッフハイト)——死後四百年に際し」創造9

書評「関根秀雄譯「モンテーニュ・隨想錄」」文學研究14

書評「小島威彦「世界創造の哲學的序曲」」史學雜誌559

三枝義夫「使徒パウロの神秘主義」——佐野勝也教授の學位論文を讀む(新)

宗教研究13-1

三枝義夫「山谷省吾氏の近著「パウロの神學」を讀む(ヘレニズムの影響)

(新) 宗教研究13-4

新刊「吉岡修一郎「ベルグソンと科學的精神」(新) 宗教研究13-3

新刊「平山高次譯「ベルグソン・道德・宗教の二源泉」(新) 宗教研究13-4

紹介「金子武藏「古代哲學史」(上卷)」帝國大學新聞607(1/13)

書評・岡田正三「後藤孝弟「ソクラテス」」京都帝國大學新聞244(5/5)

新刊・高村英夫「松原宏「唯物論通史」」唯物論研究42

新刊・松崎敏太郎「マ・エ・レ研究所編・アドラッキー監修／廣島定吉譯「カ

ール・マルクス年譜」」唯物論研究44

新刊・戸坂潤「森宏一「近代唯物論」」唯物論研究45

山岸辰藏「ディーツゲン」(唯物論者評傳) 唯物論研究47

ブックレビュー「山本光雄「ギリシヤ哲學者列傳」」唯物論研究48

ブックレビュー「古在由重「古代哲學史」」唯物論研究50

文檢參考・越山信吉「吉田熊次博士「教育學原論」の内容解説」教育論叢35-

文檢参考・越山信吉「吉田博士「西洋倫理學史講義」の内容解説(2) — 「アリストテレスの倫理説」教育論叢36-2, 4, 5, 6

Q. P. 「自由主義者・河合榮治郎」現代新聞批判63

(参考：研究室彙報「哲學研究室」、大谷學報17-1

(學生) 五辻恵敬「題クロナーのヘーゲルに就いての一考察」)

木場集藏「ヘーゲルの論理學に於ける始源の問題」大谷學報17-1

(参考：大谷大學卒論、大谷學報17-2

木場集藏「ヘーゲルの論理學に於ける始元の問題」

新慧海「シュライエルマッヘルの宗教教育の研究」)

三谷隆正「靈魂不滅論」興文3月號

大庭征露「中世哲學に關する誤解について」カトリック16-3

吉滿義彦「カトリックの哲學」カトリック16-6

大井一郎「デシヂリウス・エラスムス」カトリック16-11

「新刊書目」、哲學研究238 ——

Aristoteles : Vier Bücher u. d. Himmelsgebäude u. zwei Bücher u.

Entstehen u. Vergehen. Gr. u. dt. mit Anmerkungen v. C.

Prantl. (Lpz., 1857) Neudruck 1935, Lpz., K. F. Koehler

W. Bröcker, Aristoteles, Frankfurt a. M., Klostermann

L. M. Régis, L'opinion selon Aristote, Paris, Vrin

Dante : P. Mandonne, Dante, le théologien, Paris, Vrin

Plato : G. M. A. Grube, Plato's Thought, Lond., Methuen

「雜誌要目」 ——

F. Zimmermann, "Aus der Welt des griechischen Romans", Die Antike

Bd. 11, Ht. 4

A. Linde, "Mistra und Goethes Faust", Die Antike Bd. 11, Ht. 4

「新刊書目」、哲學研究239 ——

Augustinus : Fünfzehn Bücher ü. die Dreieinigkeit, München, Kösel &

Pustet

Cicero : Correspondance, Tom. 2, texte et tabli. et trad. par L. A.

Constans, Paris, Les Belles Lettres

M. de Corte, Études d'histoire de la philosophie ancienne, Paris

Plato : Oeuvre complètes, Tom. 9, pt. 1, Le Politique, texte établi. et

trad. par A. Diès, Paris, Les Belles Lettres

V. Solov'yev, Plato : Tr. fr. the Russian by R. Gill with a note on

Solovjev by J. Lavrin, Lond., Stanley Nott

K. Sternberg, Das Problem d. Ursprungs in der Philosophie d.
Altertums, Breslau, M. & H. Marcus

「新刊書目」、哲學研究240——

Platon, par Léon Robin, Paris, Alcan

G. Sorel, D'Aristote à Marx, Paris, Rivière

「雜誌要目」——

Hermes Bd. 70, Ht. 4 :

H. M. Dercsényi, "Exegetische Bemerkungen zu Platons Thaetet"

Fr. Egermann, "Der Dialogus des Tacitus und Platons Geogias"

G. Nebel, "Der Begriff des Kathekon in der alten Stoa"

(参考：彙報「倫理學讀書會」、哲學研究241

長谷川寅雄君「Harold Schilling : Das Ethos der Mesotes, Eine Studie
zur Nikomachische Ethik des Aristoteles」)

彙報「エリーザベト・フェルスター・ニーチェ」哲學研究241

「新刊書目」、哲學研究241——

Aristoteles : Organon, Nouv. trad. et notes par J. Tricot, Paris, J. Vrin

H. Chaniss, Aristotle's criticism of Presocratic Philosophy, Baltimore,
Johns Hopkins Press

J. Jaeger, Paideia, tr. by G. Highet

G. Murry : Greek poetry and life. Essays presented to G. Murry on his
70th birth day, Oxf. U. P.

Plotinus Schriften : Uber. v. R. Harder, Bd.2, D. Schriften 22-29, Lpz.,
F. Meiner

「雜誌要目」——

J. Schwart, "Die Lehre von den Potenzen in Schellings Altersphilosophie",
Kant-Studien Bd. 40

W. Mönch, "Ficino und die Nachwirkung Platons in der französischen Literatur
und Geistesgeschichte", Kant-Studien Bd. 40

K. L. Skutsch, "Libramen Aequum, Eine Untersuchung über die Entwicklung des
Wägungsgedankens von der Antik bis ins christliche Mittelalter",
Die Antike Bd.12, Ht.1

「新刊書目」、哲學研究242——

Aristoteles : P. Gohlke, Die Entstehung der Aristotelischen Logik,
Berl., Junker u. Dünnh

Augustinus : R. Guardini, Die Bekehrung d. hl. Aurelius Augustinus,
D. inner Vorgang in s. Bekenntnissen, Lpz.,
Hegner

F. Billicsch, Das Problem d. Theodizee im philosoph. Denken d.
Abendlandes, Bd. 1 ; Von Platon bis Thomas v. Aquino,
Innsbruck, Tyrolia

Plotinus : Ennéades, texte établi et trad. par Émile Bréhier, Tome 6,
Pt. 1 (Coll. Budé) Paris, Les Belles Lettres

〔新刊書目〕、哲學研究244——

[11517

Untersuchungen über Plato : Die Echtheit und Chronologie der plato-
nischen Schriften ; nebst Anhang , Ged-
anengang und Grundanschauung von
Platos Theätet. Stuttgart., W. Kohlmann

Platons Dialoge, Inhaltsdarstellungen, I, II, Stuttgart., W. Kohlmann

Platon, seine Leben, seine Schriften, seine Lehre, Bd.1-2, München,

C.H.Beck

Platons Dialoge Phaidros, Übersetzt. erläutert und mit ausführlichen
Register versehen, Lpz., F.Meiner

Die Kerngedanken der platonischen philosophie, München, E. Reinha-
rdt

Platonische Liebe, darstellt durch Übersetzung und Erläuterung des
Symposions

Platonismus und Christentum, 3 Vorträge

〔雜誌要目〕 ——

G.Koehler, "Le problème de la substance dans la philosophie d'Aristote",
Revue d'Histoire de la Philosophie et d'Histoire Générale de
la Civilisation, N. S. Fasc.13

O. Regenbogen, "Seneca als Denker römischer Willenshaltung", Die
Antie, Bd.12, Ht.2

H. Prang, "Wilhelm v. Humboldts Anschauung vom Wesen der Antike",
Die Antie, Bd. 12, Ht. 2

雜錄「エラスムスの生涯」(服部英次郎) 哲學研究244

〔新刊書目〕、哲學研究245 ——

A. W. Benn, History of ancient philosophy, Lond., Watts

Quintilienus : J. Cousin, Etudes sur Quintilien, Tom. 1, 2, Paris, Boivin

「新刊書目」、哲學研究246——

- Augustinus : Fünfzehn Bücher über die Dreieinigkeit, Aus d. lat.
Übers. v. Schmaus, Bd.2, Münch., J. Kösel & F. Pustet
H. Campenhausen, Die Idee des Martyriums in der alten
Erasmus : Gedenkschrift zum 400. Todestage des Erasmus von
Rotterdam, Hrsg. v. d. Historischen und Antiquarischen
gesellschaft zu Basel
L.Gautier-Vignal, Erasmus, 1466-1536, Paris, Payot
Nietzsche : W. F. Otto, Der junge Nietzsche, E. Vortr., Frankfurt a. M.
, Klostermann

「新刊書目」、哲學研究248——

- A. O. Lovejoy, The Great Chain of Being, A study of the history of idea,
Cambr. (Mass.) , Harvard U.P.
Marcus Aurelius : W. Görlitz, Marc. Aurel., Kaizer und Philosoph,
Lpz., Quelle & Meyer
Plato : A. Buchmann, Die Stellung d. Menon in d. platon. Philosophie,
Lpz., Diet erich

「新刊書目」、哲學研究249——

- Aristoteles : De caelo libri IV, recognovit D. J. Allan, Oxf. Clarendon
Press
Aristoteles : Problem, I-XX, XXI-XXVIII, with an Engl. tr. by W. S.
Hett, 2 vols. (Loeb Classical Library) Lond., Heinemann
Aristoteles : Rhetorica ad Alexandrum, with an Engl. tr. by H.
Rackham (Loeb Classical Library) Lond., Heinemann
H. Maier, Syllogistik d. Aristoteles, 2 Tle.
Epicurus : W. Schmid, Epicurus Kritik der platonischen Elementen-
lehre, Lpz., Harrasowitz
Plotinus : Schriften, Übers. v. R. Harder, Bd.3 Lpz., Meiner

雜録「コンスタンティン・リッター」(訃報) 哲學研究244

早川二郎「封建的世界觀から市民的世界觀へ——フランツ・ボルケナウの近業」
帝國大學新聞612

小松攝郎「桑木博士の近業——「西洋哲學史研究」「哲學及哲學史研究」」帝
國大學新聞613

齋藤响「「世界創造の哲學的序曲」(小島威彦著) 帝國大學新聞620

渡邊一夫「貨狹尊者（えらすむす）異聞——悲劇人としての彼」帝國大學新聞639

「浦高で桑木嚴翼博士説く——「知識と人生」より」帝國大學新聞642

林達夫「『草野集』の不協和音」（安倍能成著）帝國大學新聞643

池上謙三「ヘーゲルから實存へ——小松攝郎氏の近業を読む」（『精神科學の諸問題』）帝國大學新聞646

「ヒューマニズム論——三木清氏熱弁」（級友會）帝國大學新聞647

カレント・ブック・阿部眞琴「ボルケノウ/横川・新島譯「近代世界觀成立史」」帝國大學新聞649

カレント・ブック・竹下直之「安倍能成「草野集」」帝國大學新聞652

C. ②新居格『情熱の妖花・クレオパトラ』（新傳記叢書4）

石橋智信『メシア思想を中心としたイスラエルの宗教文化史』

今泉忠厚『基督教初代教會史』

千葉勇五郎『パウロ傳』（基督教譯本1）

有賀鐵太郎『基督教思想史概論』（ホノルル新生會）

岡本良知『十六世紀日歐交通史の研究』

庄司淺水（喜藏）『世界印刷文化史年表』

田中秀作・田中博『經濟地理學要義』

伊藤政之助『世界戰爭史』全4卷/別卷1（「西洋古代篇Ⅰ・Ⅱ」「世界戰爭史年表」）

鶴見祐輔『讀書三昧』（「スバルタの社會——秩序」）

今井登志喜監修『新修世界史年表』

鈴木俊等編『世界歴史大年表』（→昭13再版、昭14改訂4版、昭17・6版）

諏訪徳太郎『自學自習と受験準備・最も要領を得たる西洋歴史』

遠藤元夫・鈴木俊・原種行・田中正義編『史籍解題』（「西洋史」の部）

松井等・大類伸編『史學名著解題』（現代史大系15）

フレデリック・ヴッドブリヂ著／宇尾野潔譯『歴史の目的』

③大類伸・岡島誠太郎「西洋の歴史と地理」修正地理學講座3，4（→昭12）

小野鐵二「地理學發達史」修正地理學講座10（→昭12）

板倉卓造「二三のアテネ政治家」三田政治學會誌12

粟野頼之祐「エジプト出土初期プトレマイオス王朝下に於ける麥酒業収税不正事件に関するギリシヤ文書について」社會經濟史學6-1（→昭12）

講壇社會教育の資料「さすがはアレキサンダー——余は勝利を盗まず」社會教

金炳模「古代西洋に於ける圖書館」文獻報國 5

(参考：史學界近事・西洋史部會、史潮 6-2

清水二郎「新約文學に現はれたる奴隸制度の没落」)

清水二郎「上古奴隸制度の崩壊と基督教」歴史公論 5-9

原隨園「マケドニア王フィリッポス」歴史公論 5-11

田中秀作「殖民地地理上より見たる希臘羅馬の對外發展」彦根高商論叢 20

井上芳朗「古代天圖及び地圖」地理と經濟 2-4, 5

(参考：東京帝國大學文科卒論、歴史地理 67-3・史林 21-2

佐々久「アテナイに於ける氏族制度の崩壊」)

栗野頼之祐「アレセクサンドロスのアムモン崇拜と世界意識「全人類の同胞的
觀念」の誕生に就いて」史學雜誌 556, 557, 558, 559

原隨園「キロン叛亂とその年代」史林 21-2

(参考：史學研究會、史林 21-3

高山岩男「歴史意識の成立」)

秀村欣二「羅馬帝政初期アレクサンドリアに於けるギリシヤ人のユダヤ人排斥
問題」歴史學研究 6-1, 2, 3

間崎萬里譯「シャル・エフ・ジャン「前20世紀より前13世紀に至るフェニキ
ア」」史學 15-2

松村克己「アウグスチヌスの「神の國」の歴史觀」哲學研究 246

(?)「貴人の墓から發見された古代の酒倉」ミネルヴァ 1月號

(?)「古代ボンベイの酒屋」ミネルヴァ 2月號

稻垣了俊「宗教傳播に於ける地理的制約——基督教を中心として觀たる」

(羅馬時代)(新)宗教研究 13-1

④近著文献(川原・小松)「佐伯三郎「世界商業史綱要」」早稻田政治經濟學雜誌 45

角田文衛「最近の考古學界」考古學論叢 3

海外考古學情報「スパルタに於ける階級闘争」歴史科學 5-1

海外考古學情報「古代中世のストライキ」歴史科學 5-5

海外考古學情報「ヘルクラヌムの遺跡を語る」歴史科學 5-5

海外考古學情報「アマディオ・マイウリ教授」歴史科學 5-5

新史論展望「栗野頼之祐「アレクサンドロスのアムモン參拜行と世界意識「全
人類の同胞的觀念」の誕生に就いて」歴史教育 11-5

船田三郎「ランケの歴史研究の方法とその根底にあるもの」史學 15-4

(参考：史學界近事・西洋史部會、史潮 6-2

- 長崎茂次「ブルックハルトの世界史観に現はれたる二三の問題」
(参考：広島文理大學史學科卒論、歴史地理67-3
伊藤隆治「ヴィコを中心としてツキヂデスの史観の比較（ヴィコと
ブルクハルト及び新井白石の史観の比較）」
岡本恒治「ヘルデルの歴史観に於ける國民の觀念とその發達」
新刊「Römische Geschichte, von J. Vogt u. E. Kornemann」文化3-6
書評「The Cambridge Ancient History, vol. X, The Augustan Empire 44 B. C.-A.
D. 70, ed. by S. A. Cook, F. E. Adcock, M. P. Charlesworth」史學雜誌554
(参考：西洋史讀史會、史學雜誌555
村川堅太郎「プトレマイオス家時代のエジプトの貿易」(Rostovzeff論
文の紹介)
(参考：西洋史讀史會、史學雜誌557
秀村欣二「Geld und Wirtschaft in römischen Reich des vierten Jahr-
hundert, 1932, von G. Mickwitz」)
(参考：海外史界、史學雜誌557
秀村欣二「羅馬帝政末期經濟研究の礎石——G. Mickwitz氏の業績」)
書評「Johannes Haller, Über die Aufgaben des Historikers, 1935」史學雜誌563
(参考：西洋史讀書會、史林21-1
市川文藏「アウグスチヌスの世界史論」)
紹介「田中秀作・田中博「經濟地理學要義」」史林21-3
西洋史部會「原隨園「新義・西洋史」合評」歴史學研究6-2
西洋史部會「最近の概説書を通じて見たる我國西洋史學界の動向（大類伸「西
洋史新講」、原隨園「新義・西洋史」、内藤智秀「西洋史概説」)
歴史學研究6-2
會報「最近の概説書を通じて見たる我國西洋史學界の動向——訂正並びに正誤」
歴史學研究6-3
紹介・小原敬二「ゴルトムント・イースト「ヨーロッパ歴史地理學」」歴史學
研究6-4
千代田謙「ヘルデル、シュレーゲル、ヘーゲルの世界史相」史學研究8-3
紹介・祇園寺信彦「Oppermann「アウグスツスの人口政策」」西洋史研究10
長崎茂次「ブルクハルトの「世界史観」及びその精神的考察」西洋史研究10
比通文「ヘルデルの歴史哲學に於ける運命の體驗」獨逸文學7
河野正通「ヘーゲルの歴史觀」歴史2, 3
秋澤修二「マルクス・エンゲルスの歴史觀」歴史2
十河佑貞「ヘルデルの文化的民族主義」史苑10-2

書評「石橋智信「メシア思想を中心としたるイスラエルの宗教文化史」」教育
週報562

「雑誌要目」、哲學研究238 ——

D. M. Robinson, "Die Ausgabung in Olynth. ", Die Antike Bd. 11, Ht. 4

「雑誌要目」、哲學研究241 ——

H. Berve, "Fürstliche Herren zur Zeit der Persekriege", Die Antike Bd.
12, Ht. 1

R. Pfeiffer, "Wilhelm von Humboldt, der Humanist", Die Antike Bd. 12,
Ht.1

「新刊書目」、哲學研究249 ——

J. G. Dryosen, Historik, Vorlesungen über Encyclpaedie und
Methodologie der Geschichite, Grundriss der Historik,
München, Beck

「切妻石の發掘——希臘期の」帝國大學新聞608

D. ①淵田忠良編『昭和イソップ集』（キング文庫）

②ハウゼンスタイン著／阪本勝次譯『裸體藝術社會史』

和田邦三『ラテン文法初歩』

田中秀央『新羅甸文法』（4版）

高橋金一郎『ラテンの曲げ大意』（訂11版）

松村正俊撰『羅甸語四週問』（再版）

木村雄治『ラテン語第一歩』（羅典語入門叢書第1編）

佐藤義詮『希臘古代詩序説』

猪狩又藏編・杉浦重剛『倫理御進講草案』（「イソップ物語」）

蘆谷重常『國定教科書に現はれたる國民説話の研究』（傳説篇・第6章「百合
若」）

門馬直衛『古代音樂史』（世界音樂叢書90）

湯淺永年等『西洋音樂史』（音樂叢書2、昭12刊？）

小松耕輔『西洋音樂史綱要』

柳善吾『西洋音樂教育史』

フランツ・シルレル著／熊澤復六譯『文藝學的發展と批判』

高沖陽造『文藝思想史』（唯物論全書）

ボザンケ著／鷲尾雨工譯『羅馬美學』（世界大思想全集101）

ヴェルツマン他／大平章譯編『古典藝術の再批判』（ワルドガウエル「全盛期
のギリシャ藝術」・コヘピンスキー「古代
ギリシャの肖像彫刻」を含む）

ヴェルフリン著／守屋謙二譯『美術史の基礎概念 —— 近世美術に於ける様式
発展の問題』

中山昌樹譯『ダンテ・新生詩集』

中山昌樹譯『美しき魂』(「美の殉教・サッフォ」)

岡本威溪等譯『バイロン全集』(5冊)

原俊之『アーノルド』

井島勉『キインケルマン』(西哲叢書13)

茅野蕭々『獨逸浪漫主義』(→昭17改訂版)

黒田辰男『ゲーテ論攷』

舟木重信『ゲーテ人生讀本』(人生讀本叢書4、昭12刊?)

ヘルデルリーン作／渡邊格司譯『ヒューベリオン——希臘の世捨人』(岩波文庫)

ニイチェ著／生田長江譯『悲劇の出生・附「ワグネルの事件」』(「新譯決定版
「ニイチェ全集」1)

エッケルマン著／神保光太郎譯『ゲーテ對話の書』(上下)

ブランデス著／栗原佑譯『ゲーテ研究』(ナウカ社)

シラー著／草薙正夫譯『美と藝術の理論 —— カリアス書簡』

メリメ作／渡邊一夫譯『エトルリアの壺』(世界短編傑作全集2)

シュニッツラー作／相良守峯譯『ギリシヤの踊子』(「シュニッツラー短編全集
1」)

シュニッツラー作／菅博雄譯『希臘の舞姫』(山本文庫)

シュニッツラー作／番匠谷英一譯『ギリシヤの踊子』(岩波文庫)

③ゲーテ／芳賀檀譯「エピメニデスの覺醒」(改造社版「ゲーテ全集」11)

ゲーテ／成瀬無極譯「タウリス島のイフィゲーニエ」(改造社版「ゲーテ全集」
14)

ゲーテ／谷川徹三譯「アリストテレス「詩學」拾遺」「ラオコーンについて」
「敘事詩と劇詩」「建築藝術」「ディレクタンティズムに
就いて」「所謂ディレクタンティズムまたは藝術に於ける
實行的愛好に就いて」「造型藝術に諸對象について」
「もう一度ホメールについて」「世界文學再論」(改造社
版「ゲーテ全集」24中)

神田盾夫「ギリシヤ語について」ギリシヤ語聖書研究3-7, 8, 9, 10

高橋源次「アリストートルの詩論に就いて」彦根高商論叢20

仁戸田六三郎「ホメーロス」理想69

新潮文庫166「ギリシヤ文學研究」——

野上豊一郎「ギリシヤ神話傳説」

- 野上豊一郎「ギリシアの詩」
- 新關良三「ギリシア劇」
- 呉茂一「ギリシアに於ける詩學」
- 野上豊一郎「ギリシア文學の英文學に及ぼしたる影響」
- 山田珠樹「ギリシア文學の佛文學に及ぼしたる影響」
- 新關良三「近世獨文學に於けるギリシア文學傳統」
- 表紙繪説明「イソップの肖像」藝艸會雜誌・圖書館研究12-1
- 南方熊楠「『藁と石灰と隠元豆』について」（イソップ寓話、淺田勇「國外類型二つ」昔話研究1-4）昔話研究2-5
- 上野直昭「ギリシャ建築と朝鮮建築、特に柱について」（速水博士遺稿記念論文集中）
- 森口多里「ミネルヴァの造形」ミネルヴァ2，3月號
- 岡登貞治「希臘アテネの遺構」中央美術30
- 森口多里「タラントの廢墟」中央美術37
- 山中謙二「フランクの文運興隆について」史學雜誌554
- シェリング／松下武雄譯「藝術哲學」コギト44，46，47，52，54
- ④松下武雄「ディルタイの『體驗と文學』」コギト44
- ゲーテ／石中象治譯「文學と人生に就いて」（遺稿より）コギト45
- 松下武雄「文學と現實」コギト48
- 三浦常夫「古典的な、あまりに古典的な」コギト48
- 江川英一「ノヴァリスの病と詩」コギト51
- 加山宗二「アナトール・フランスの皮肉——工場監督制度について何を教へるか」法律時報8-6
- 兒玉敬「文獻學と解釋學」心の華40-1
- 木代修二「飛鳥朝文化に於ける佛教美術」佛教文化10-28
- 石田繁「ヘーゲルの音樂論」季刊・音樂研究1-4
- 井島勉「美術史學の立場」（キンケルマン等）史林21-4
- 紹介「井島勉『キンケルマン』」史林21-4
- ゲーテ／谷川徹三譯「ヴィンケルマン」（改造社版「ゲーテ全集」24）
- 新刊「井島勉『キンケルマン』」文化3-9
- 横村浩「長編敘事詩バイロン・ハイネ」詩人1
- 吹田順助「ニイチェと現代の文學」理想62
- 木村謹治「若きゲーテの書簡及日記」エルンテ8-1
- 武田忠哉「ゲーテと女性」婦人文藝3-3
- 御木本隆三「ラスキン女性觀の一部」婦人文藝3-4

- 矢本貞幹「Paterの表現論」英文學研究16-2
 矢野峰人「『アーノルド文學論』の評人に」英語青年74-11
 平田禿木「A. E. ハウスマン逝く」英語青年75-8
 西脇順三郎「A. E. Housemanの一生」英語青年75-8
 齋藤勇「A. E. Houseman」英語青年75-8
 伊地知純正「古典研究と羅匈語 村松正俊著『羅匈語四週聞』早稻田大學新聞
 52 (10/28)
 ブックレビュー「ヴェルツマン他／大平章譯編『古典藝術の再批判』唯物論
 研究50
 岸田國士「関根秀雄譯『モンテーニュ隨想・』」文藝懇話會1-7
 三木清「徳永郁介氏の『美學』」教育學術界73-2
 詩歌之國・淇水「偶感」(斷天 [ダンテ]等) 聖化115
 松本重彦「西南亞細亞言語の系統」東洋思潮?
 書評「一氏義良『世界美術鑑賞』」教育週報602
 書評「相良徳三『歐洲美術の歴史』」教育週報606
 兒童讀物研究會審査會推薦圖書「ひらかなイソップ」(谷崎伸著) 滿鐵教育た
 より19
 兒童讀物研究會審査會推薦圖書「繪入イソップ物語(カタカナノ巻)」(酒井朝
 彦著) 滿鐵教育たより28
 兒童讀物研究會審査會推薦圖書「繪入イソップ物語(ひらがなの巻)」(酒井朝
 彦著) 滿鐵教育たより28
 新刊「北村直躬・石崎達二共著『古代佛像の人類學的研究』(ガンダラ型等)
 (新) 宗教研究13-1
 柳谷武夫「年代別切支丹關係文獻目・」カトリック16-10
 「新刊書目」、哲學研究240——
 Longinus : A treatise on the sublime, tr. fr. the Greek into Engl. by F.
 Granger, Lon d., Stanley Nott
 「雜誌要目」——
 Fr. Klinger, "Über die Recensio der Horazbandschriften", Hermes
 Bd.70, Ht. 4
 A. Körte, "Zu Menandes Theophoroumene", Hermes Bd. 70, Ht. 4
 「雜誌要目」、哲學研究244——
 F. Klinger, "Horaz", Die Antike, Bd. 12, Ht. 2
 W.-H.Schuchhardt, "Das ♀ Badende Mädchen ♀ im Münchner
 Antiquarium", Die Antike, Bd.12, Ht.2

「新刊書目」、哲學研究245——

W. Rehm, Griechentum und Goethezeit, Geschichte der Glaubens,
Lpz., Dieterich

「新刊書目」、哲學研究246——

Plato : K. Büchner, Platons Kratylus und die moderne Sprachphiloso-
phie, Berl., Junker & Dünnh

「新刊書目」、哲學研究249——

Longinus : Die Schrift vom Erhabenen, Gr. u. deut. hrsg. u. u bertr. v.
Renata v. Scheliha, Berl., G.Bondi

H. J. Rose, A Handbook of Latin literature from the earlier times to the
death of St. Augustin, Lond., Methuen

片山敏彦「今日のオルフォイス」季刊・音楽研究 2-1

石田繁「ゲーテと音楽」季刊・音楽研究 2-1

久保榮「神と科學との争ひ——「ファウスト」のおぼへ書きから」帝國大學新
聞607

菅原太郎「獨佛に於ける其の演出」(ゲーテ「タウリスのイフィゲネエ」) 帝
國大學新聞607

野上巖「生田長江氏の業績について」(ホーマ、ダンテ、ゲーテ等) 帝國大學
新聞608

高沖陽造「フリーチェの方法とブランデスの方法——比較研究ノート」帝國
大學新聞612

本多顯彰「混沌たる諸潮流」(ジョイス) 帝國大學新聞613

森口多里「美術概論其他」(兒島喜久雄氏著) 帝國大學新聞620

吹田順助「克明なる論述——上村(清延)氏の「ゲーテ以後」」帝國大學新聞622

通信指導・歐洲語學研究得エウロパイオン「英獨佛希羅」(高中初等科夏學
期) 帝國大學新聞635

久松潛一「即興詩人と羅馬行」帝國大學新聞636

谷川徹三「私と相良君——「歐洲美術の歴史」の著者」帝國大學新聞639

「ブーク博士講演——「メフィストの性格」(ゲーテ研究の權威) 帝國大學新
聞644

茅野蕭々「ゲョエテの復興——現代に於けるその意義」帝國大學新聞648

E. ①佐伯好郎譯「ユ帝欽定勅法彙纂邦譯」法律論叢15-1, 2, 3, 4

矢田一男譯「儒帝法學撮要邦譯」法學新報46-1, 4, 8, 9, 12

船田亨二譯「ユスチニアヌス帝學說彙纂第九卷邦譯」法學新報46-2

②クルト・ジンガー著/清水武譯『プラトーン』(社會科學の建設者・人と學說

高橋清吾『政治思想史』(上)

早川二郎『古代社會史』(唯物論全書22)

ラヴィス著／小島幸治譯『歐洲政治史概観』

リヤシチェンコ著／平館利雄譯『經濟學說史』？

シャルル・ジイド&シャルル・リスト著／宮川貞一郎譯『經濟學說大系』？

ザイド&リスト著／古屋美貞譯『經濟思想史』(下、→昭13「經濟學說史(上下)」と改題)

上田辰之助『古代及び中世經濟學史』(新經濟學全集第5)

増榮太郎『經濟史講義』(原始社會、古代奴隸經濟社會、封建社會)

隈崎渡『西洋法制史』

西本顯『西洋法制史講義』

戸倉廣『羅馬法講義——總則及物權』

モンテスキュー著／齋田禮門譯『ペルシア人の手紙』

河合榮治郎『社會思想家評傳』(第3篇「トマス・ヒル・グリーン」)

③南原繁「プラトーン復興と現代國家哲學の問題」國家學會雜誌50-9

三浦新七「古代羅馬文化の實踐的傾向」東京商科大學六十周年記念論文集・第1部中

小泉功「Die Mittieとしての貨幣とDas Mittelとしての貨幣」大阪商科大學經濟研究年報10

青木巖「プラトンの政治思想の序論」哲學(三田哲學會)16

武藤智雄「羅馬法進化の諸段階——羅馬法制史の時代區分に就いて」法政研究6-2

船田享二「ウェスパシアヌスの主權に關する法律」公法雜誌2-8, 9

船田享二「アウグスツスの元首政と羅馬の民事訴訟」法學新報46-5, 8, 10

資料「昭和十年施行、東京、京都、東北、九州各帝大法學部法文學部試験問題」、法律時報8-5

——法理學：東大(高柳教授)1.(1)「プラトン、トマス・アクイナス及びカントの國家觀の異同及びミルに就いて」(2)「アリストテレスに於ける正義の分類及び之に對する批判」

政治學史：東北(佐藤教授)追1「Aristotleの共產主義批判に就いて」

法制史・法史學：東北(栗生教授)科2。「ローマ法の變遷」

九大(武藤助教授)2。「所謂註釋學派(Glossatoren)」

とは何ぞ、その羅馬法學史上に於ける地位は如何」

羅馬法：東大(原田助教授)1。「賣主擔保主義の沿革」2。[traditio

- に就て] 3. 「pia causa に就て」
- 京大〈田中教授〉1. 「ローマ民事訴訟手續を概観せよ」2.
「左の事項を簡単に記せ。actio serviana, Gaius, Lex plaetoria,
Novellae (constitutions), papyrus」
- 西本願「ローマ法継受の再検討」法學論叢35-4
- 西本願「西洋法制史研究の方法に就て」法學論叢34-5
- 武藤智雄「羅馬法か東方法か——嚴格方式の崩潰と文書使用の臺頭を中心として」法學協會經濟誌54-7, 8, 9, 11
- (参考: 史學界近事・西洋史部會、史潮6-2・史學雜誌559
秀村欣二「羅馬帝政末期に於けるコレギアの國家統制」
武藤智雄「羅馬法の歴史的進化」)
- 戸倉廣「イスパニヤ法制史上に於ける羅馬法の使命」史林21-2
- 戸倉廣「古代世界に於ける諸法律瞥見」經濟法律論叢7-1
- 伊藤俊夫「伊太利に於ける農業信用の史的發達」帝國農會報26-6, 7
- 植橋渡「ローマ時代に於ける貨幣變動と契約上の諸問題」法曹公論41-2, 3,
4, 5, 8, 10
- 打村鑛三「中世基督教と結婚——古代中世に於ける自然法理とその實證法的
適用」三田學會雜誌30-7
- 照井豊「Dion Chrysostomos の君主觀」西洋史研究10
- ④牧野英一「中世主義の現代化」(トマス等) 法律時報8-1
- 牧野英一「急如律令・(13)(23)(24)」(ローマ法等) 法律時報8-1, 11, 12
- 新刊・宮澤俊義「尾高教授の「法哲學」」法律時報8-3
- 新刊「西本願「西洋法制史講義」」法律時報8-7
- 月評・具島兼三郎「南原繁「プラトーン復興と現代國家哲學の問題(國家學會
雜誌50-9)」」法律時報8-11
- 月評・淵定「船田享二「ウエスパシアヌスの主權に關する法律(公法雜誌2-
8, 9)」」法律時報8-11
- 新刊「宮澤俊義譯「モンテスキュー・法の精神」」法律時報8-11
- 典籍往來「淺井清信「フリッツ・シュルツ「ローマ法原理」」法と經濟5-5
- 近著文獻「F. F. Abbott, & A. C. Johnson, Municipal Administration in the
Roman Empire, 1926」早稻田政治經濟學雜誌45
- 近著文獻(川原・小松)「高橋清吾「政治思想史(上)」」早稻田政治經濟學雜
誌46
- 近著文獻(川原・小松)「F. W. Hirst, Liberty and Tyranny, 1935」早稻田政治
經濟學雜誌47

- 近著文献「Yung Chi Hoe, Origin of Parliamentary Sovereignty or "Mixed" Monarchy, 1935」早稲田政治経済学雑誌47
- 近著文献「F. W. Russell, Theories of International Relations, 1936」早稲田政治経済学雑誌47
- 近著文献「F. W. Russell, theories of International Relations, 1936」早稲田政治経済学雑誌49
- 近著文献（川原・小松）「J. O. Hertzler, Social Thought of the Ancient Civilizations, 1936」早稲田政治経済学雑誌49
- 高橋清吾「日本経済史学史の一齣」早稲田商学12- 2
- 大島豊「現代フランス法学に於けるトマス説」法律論叢15- 1
- 大島豊「ヘンリー・メーンの法制思想の特徴」法律論叢15- 3, 4
- 紹介「隈崎渡「西洋法制史」」法学志林38- 6
- 細川龜市「西本氏著「西洋法制史講義」」法学志林38- 8
- 西本頴「拙著「西洋法制史講義」に對する宮下教授の批評に答ふ」法学論叢35- 6
- 紹介「西本頴「西洋法制史講義」」史林21- 4
- 紹介・宮下孝吉「西本氏著「西洋法制史講義」」国民経済雑誌61- 5
- 大類伸「古代経済史の概観的論文」(Heichelheim & Rostovtzeff) 西洋史研究 9
- 高橋誠一郎「ジョイス・ハーツラー教授「古代諸文明の社會思想」」三田學會雑誌30-12
- 三戸壽「獨逸に於けるローマ法繼承をめぐる原因論の諸相」法学 5- 9, 10, 11
- 淵定「ガキニーに於ける法の歴史性」公法雑誌 2- 8, 10
- 瀬川李四郎「歐米政治思想の回顧」カトリック16- 8
- 「雑誌要目」、哲學研究238——
- W. Schubart, "Justinians Corpus Juris", Die Antike Bd. 11, Ht. 4
- 「雑誌要目」、哲學研究241——
- H. Perls, "La philosophie platonicienne du droit", Revue Philosophique de la France et de l'Étranger, Année 61, no. 1/2
- 「新刊書目」、哲學研究243——
- C. A. Emge, Eine Rechtsphilosophie wandert durch die alter Philosophie
- 「新刊書目」、哲學研究244——
- Platos Gesetze, Kommentar zum griechischen Texte, Lpz., Teubner
- Platos Gesetze, Darstellung des Inhalts, Lpz., Teubner
- Platon : Der Staat, Stuttgart., W.Kohlmann, Neue Untersuchungen über

Platon, Mün chen, C. H. Beck

「最近の經濟史學界」經濟史研究15-4 [11779]

—— M. I. Rostovtzeff, The Hellenistic World and its economic development
(The American Historical Review, 41 [2] ,36)

「最近の經濟史學界」經濟史研究15-5 [11780]

—— I. R. Michael, The Hellenistic World and its economic development
(The American Historical Review, 41 [2] ,36)

H. Scломitz, Zur Wirtschaftlichen Bedeutung des römischen Gutschhofes
in Köln-Müngersdorf, Darmshadt, '34

「最近の經濟史學界」經濟史研究16-4

—— A. C. Johnson, An economic survey of ancient Rome, vol. 2, '36

新著「黒谷了太郎編「世界糖業小史」」經濟史研究16-4

「經濟史年鑑」經濟史研究16-5

—— 第一章一節「經濟史理論及經濟史一般」四節「西洋經濟史」／第二章一節「史學及經濟史理論」五節「西洋經濟史」／第三章一節「著書及論文紹介一覽」

小池秋草「ジンガー先生の初印象記」帝國大學新聞625

「ジンガー氏二高教師に」帝國大學新聞625

F、②太田千鶴夫『西洋醫學歴史』

小林三郎・森優・進藤篤一『醫學生のラテン語法』

岡邦雄『科學思想史』（唯物論全書、第1章「古代」）

松野吉松『化學思想史』

田邊元『一般教養としての數學について』（「思想史に見たる數學の發達」）

大塚盟太郎『數と世界及び人生』

鈴木良徳『少年オリムピック讀本』

大日本體育協會編『オリムピックの書』

野口源三郎『オリムピックの知識』

高橋イネ・加藤とし『歐洲服裝史』

臺灣總督府殖産局編並發行・黒谷了太郎編『世界糖業小史』（「古代の糖業」）

③白木不二雄「びたごらすノ定理ノ擴張」數學會雜誌18

石橋豊「ピタゴラスの定理について」學習研究10月號

（參考：會報「西洋史部會」（文學部研究室）、史觀9

（學生）平田寛君「初期ピタゴラス學派の幾何學」）

世田雄一「數學史の研究」唯物論研究46, 47, 48, 49, 50

北田宏藏「天動説から地動説まで」地理教育25-4, 5, 6

- 野口源三郎「古代オリムピック競技（競走篇）」*體育と競技*15- 5
- 野口源三郎「古代オリムピックの陸上競技（跳躍篇）」*體育と競技*15- 6
- 野口源三郎「古代オリムピックの陸上競技（投擲篇）」*體育と競技*15- 7
- 野口源三郎「古代オリムピックの陸上競技（投擲・槍投篇）」*體育と競技*15- 8
- 瀬川三郎「オリムピック・ゲームスの起原について」*教育論叢*36- 5
- 土井晚翠「古代ギリイスのオリムピック競技」*文藝春秋* 9月號
- 新居格「オリムピックの文化的意義」*日本評論* 9月號
- 竹之下休藏「オリムピックと近代オリムピック」*女子と子供の體育* 1- 9
- 太田正雄「疥癬講究の歴史」（希臘羅馬等）*日新治療*223
- 三枝義夫「數學進歩の歴史—— 日支歐數學比較發達史」*帝國大學新聞*645, 646
- ④ブックレビュー「岡邦雄「科學思想史」唯物論研究48
- 岡崎文規「ケトラーとゲーテ」*日本統計學會年報* 4- 5
- 澤弐「新元會圖鑑賞記」*日本醫事新誌*731
- 「新刊書目」、*哲學研究*239——
- Euclides : Die Elemente (Stoikheia) , Nach Heibergs Text aus d. Gr.
ubers. u. hrsg. v. C.Thær. Tl.3 : Buch 7-9. Lpz., Akad.
Vlg.ges.
- 「雜誌要目」、*哲學研究*241——
- Euclid : Elemente Buch X, Nach Heiberg's text u bertra. von Theodor
Peters, Kant-Studien Bd.40
- 「雜誌要目」、*哲學研究*244——
- A. Rey, "Logique, mathématique et participation à la fin du V siècle
hellénique", *Revue Philosophique de la France et de l'Étranger*,
61 Année 5 / 6
- 「新刊書目」、*哲學研究*245——
- Euklid Elemente, Buch X, Nach Heibergs Text u bertr. v. Th. Peters,
Berl., Pan-Vlg.
- G. 吉江喬松編『世界文藝大辭典』第7卷中2（昭10-12、田中秀央「ギリシア文學」）
城戸幡太郎等編『教育學辭典』（全5冊、→昭14）
新刊「『教育學辭典』に就いて」（城戸氏等編）*滿鐵教育*たより23
富山房百科辭典纂部編『國民百科大辭典』（8冊、→昭13）
岡倉由三郎『新英和大辭典』（新版。研究社）
市河三喜・畔柳都太郎・飯島廣三郎共著『大英和辭典』（130版）
島村盛助・土居光知・田中菊雄『岩波英和中辭典』（岩波書店）
齋藤秀三郎編・豊田實増補『熟語本位英和中辭典』（岩波書店）

賀川哲夫編『標準醫語辭典』

新刊「Richard Ince, A Dictionary of Religion and Religions, 1935」(新) 宗教研究13-3

新刊「法律學辭典」(第三卷) 法律時報 8-4

新刊「法律學辭典」(第四卷) 法律時報 8-10

戸坂潤「現代哲學辭典」(三木清編) 帝國大學新聞644

齋藤勇「ヘボンを憶ふ」 帝國大學新聞649

昭12 (1937)

A. 賀川豊彦「ギリシヤの文化」 文藝春秋 7月號

賀川豊彦「ギリシヤの古代文化を探る」 雲の柱 (賀川豊彦個人雜誌) 16-9

片山敏彦「ギリシヤ精神」 新潮 4月號

片山敏彦「ロマン・ロランとギリシヤ精神の春」 書物展望67 (7-1)

帝國大學新聞社編(澤田慶輔)『讀書の眼』(濱田青陵「追想のギリシヤ」)

竹山道雄「新ソフィスト時代」 思想185

書評「田中耕太郎「教養と文化の基礎」」 教育 (岩波) 5-11

友納養徳「スパルタの旅」 歴史教育12-6

アンリ・ア・スカシス／三枝茂智譯「羅馬に及ぼしたる希臘文化の影響」 歴史教育
12-11

横光利一『歐洲紀行』

龜井勝一郎「伊太利への旅」 日本浪漫派3-3

書評・小池一郎「Hochholzer; 地中海文化生成の例としてのシシリア」

西洋史研究11

(参考: 會報「總會」(第72教室)、史觀11

中西敬二郎君「キプロス古代文化の一斷面」)

新刊「H. Dodd, Hellenism and Christianity」 文化4-9

内外文献月報 (歐文)「H. V. Loon, Histoire d'humanité」 經濟學雜誌1-9

戸坂潤「和辻哲郎博士・風土・日本」 自由1-2

(参考: 臺北帝大哲學科講義題目、臺北帝國大學文政學部・哲學科研究年報4

哲學概論 (岡野)、西洋哲學史概説 (淡野)、西洋近世哲學史 (淡野)、
倫理學概論 (世良)、西洋近世理倫理學史 (柳田)、講讀及演習 (Aristoteles, Ethica Nicomachae, trs. by Ross, 世良)、心理學概論 (飯沼)、
教育学概論 (伊藤)、教育史概説 (福島) 等)

(参考: 昭和十二年度東京帝國大學文學部史學關係講義題目、史學雜誌570

史學概論 (今井) 西洋史概説 (山中) 中世中期史 (山中) 希臘文化の希

臘美術（兒島）、Polisノ成立（村川）西洋史學演習（村川）十九世紀の
哲學（伊藤）西洋哲學史概説（出、伊藤）西洋倫理學史概説（金子）宗
教史概説（石橋）教育史概説（海後）西洋音樂史概説（遠藤）西洋美術
史概論（希臘彫刻史、紀元前五世紀マデ、兒島）西洋美術史各論（伊太
利亞文藝復興期ノ繪畫、兒島）英文學史（齋藤）等）

- B. ①アリストテレス著／高橋六郎譯『精神論（心理學Ⅰ）』（アリストテレス全集8）
羊門文庫（名古屋）第7「エピクテタス・眞の自由／アウレリウス・人に對す
る道」（→昭15）

岡田正三譯『プラトン全集』3卷——

第1「メノン」・第2「カルミデス／イオン」・第3「ゴルギアス」

天來「曠野に立ちて——東天紅を眺めて」（哲人プラトーの言）聖化121

- ②藤平武郎『西洋哲學史講話』（上下）

秋澤修二『世界哲學史』（西洋篇）

石丸悟平『創造哲學概論』（「ギリシア哲學概説」）

黒田英一『哲學思想十二講』

城戸幡太郎『心理學史』（上）

松本又太郎『心理學史』

白根孝之『教育科學概説』（第5章「ギリシヤに於ける教育の發生」）

會田慶司『詳解・西洋教育史』

松村克己『アウグスチヌス』（西哲叢書5、→昭12・3版）

三谷隆正『アウグスチヌス』（社會科學の建設者・人と學説叢書16）

額賀鹿之助『聖アウグスチン』

高柳伊三郎著・石原謙校閱『基督教思想史』（第6章「ヘレニズムと基督教」）

落合太郎『モンテーニュ』（大教育家文庫11）

モンテーニュ著／関根秀雄譯『選抄・モンテーニュ隨想録』

木村謹二『ゲーテ・シルレル』（大教育家文庫17）

ニーチェ著／戸田三郎譯『人間的餘りに人間的自由精神のための書』

（上、岩波文庫）

陶山務『思索斷章・微風ある精神史』

陶山務『ニイチェ・ツアラトストラ讀本』

伊福部吉隆『ニイチェ人生哲學』

齋藤龍太郎『ニイチェ論攷』

井汲越次譯『ニイチェ藝術論抄』（1、2卷、改造文庫、→昭13）

ベルグソン著／平山高次譯『道德と宗教の二源泉』（新地社版）

ペーター著／田部重治譯『文藝復興』（岩波文庫）

- ニグレン著／佐原信雄譯『アガペとエロス』
- ③ゲーテ／實吉捷郎譯「プロメトイス」（改造社版「ゲーテ全集」12中）
ラファディオハーン／落合貞三郎譯「アフロダイティーと王の囚人」
（八雲全集家庭版8）
- ジョージ・ガロウエー／小川清澄譯「宗教哲學史論」雲の柱
（賀川豊彦個人雜誌）16-7
- 星野重顯「プラトン「メノン」篇」哲學（三田哲學會）17
- 松浪信三郎「プラトン「チマイオス」に於ける創造の論理」Philosophia
（哲學年誌）12
- 中川清「ミュトスとロゴス」哲學評論1（創刊號）
- 出隆「プラトンの僧院脱出記 哲學史餘談」哲學評論2
- 出隆「アリスチテレスと猪 一 哲學史餘談」哲學評論3
- 出隆「店頭のプロチノス—— 哲學史餘談」哲學評論5
- 山崎宏「哲學者と政治 ——ソクラテスの問題」哲學評論5
- 廣島文理大學編「教育科學」5中—————
 稻富榮次郎「プラトンの哲人教育論」
 皇至道「古代大學の本質（アカデミア）」
- 前田鷹衛「古代ギリシヤ人の運命觀」哲學論叢（東京文理大學大塚哲學會）3
（?）「ソクラテス」師道2，3月號
- 島大藏「ソクラテスについて」愛媛教育603
- 石山脩平「ギリシヤに於ける言葉と教育」晚翠會紀要11「言語文化体系」中
- 石山脩平「プラトンの國家主義教育思想と我が國現時の教育」日本諸學振興委
員會研究報告1
- ベルンハルト／大石峯雄譯「古代希臘に於ける形而上學と身體の形態理想」
教育學研究6-2
- E. ブルンナー／唐澤富太郎譯（抄譯）「エロスと愛」教育學研究6-10
- 遠藤貞吉「プラトンの書翰について」（関西學院文學部創立二十五周年記念論
文集中）
- 岡田正三「古典ヘラスの智育主義」學生評論2-1（5月號）
- 岩崎勉「形而上學」（新哲學講座第1中、→昭13）
- 西田幾多郎「プラトンのイデアの本質」（「續思索と體驗」中）
- 川田熊太郎「パルメニデス篇第一部について」哲學科年報（立教大學）1
- 川田熊太郎「プラトンの原因論」哲學雜誌603，604
- 小瀬正吉「エティカ・ニコマケーアに於けるフィリアに就て」哲學雜誌608
（參考：京都帝國大學文科卒論、哲學研究251）

高橋亨「アリストテレスに於けるOusiaとしてのPsyche」)

藤井義夫「アリストテレスに於ける認識論的思想の發展」哲學研究256, 261

高橋亨「アリストテレスに於けるOusiaとしてのPsyche」哲學研究260

佐々木理「ファイエーケス——「おでゆすせいあ」の一靈魂神話」思想185

成澤理平「希臘羅馬神話抄(14-18)」ふらんす(白水社)13-4, 5, ?, 11

(以前欠本)

安部光植「ソクラテスと環境(ソクラテスの生涯)(11)」師道2-1(以前欠本)

安部光植「愛と美(ソクラテスの生涯)(12)」師道2-2

安部光植「愛と友情(ソクラテスの生涯)(13)」師道2-3

安部光植「市民とソクラテス(ソクラテスの生涯)(14)」師道2-4

安部光植「ソクラテスと喜劇(ソクラテスの最期)(1)」師道2-5

安部光植「雲の梗概(ソクラテスの最期)(2)」師道2-6

(参考:早稲田大學史學科卒論、歴史地理69-4

金學燁「古代希臘に於ける神人交通の思想に就て」)

龜井勝一郎「美しきヘレナ——希臘思慕・その古代性と近代性」日本浪漫派

3-5

芳賀植「プロメトイス」(詩)四季32

難波田龍起「アポロへの道」雜記帖7月號

葉上照澄「希臘道德思想史に於けるホメロス」教育學術界76-3

古城文雄「系統的西洋倫理學史講話」文檢世界23-2, 3, 4, 5, 6, 9, 10

三谷隆正「アウグスチヌスの神國觀」日本聖書雜誌8月號

鈴木成高「アウグスティヌスとその時代」史林22-4

フィリップ・デロリエ／柳川徳治郎譯「聖アウグスチヌスの據る詩篇の

テキスト」カトリック17-10, 11

④文檢参考・越山信吉「修身科豫備試驗問題(2)」(「シュゼウィックの倫理説を述べよ」)教育論叢37-1

文檢参考・越山信吉「修身科豫備試驗問題(2)」(「ヘーゲルの倫理説を述べよ」)教育論叢37-2

由良哲次「カッシーラに於ける神話の哲學」教育論叢37-6/38-1, 3, 5

出版界「ヴォルテール／杉山英樹譯「人間と哲學」」日本學藝新聞32

新刊「森宏一「近代唯物論」」日本學藝新聞33

出版界「松村克己「アウグスティヌス」」日本學藝新聞33

戸坂潤「讀書法日記(13)」(アナトール・フランス)日本學藝新聞38

(?)「モンテーニュの「壽命に就いて」」日本學藝新聞45

紹介・秀村欣二「村松克己「アウグスティヌス」」歴史學研究7-8

- 紹介・原種行「秋澤修二「世界哲學史」(西洋篇)」歴史學研究7-9
- 有賀鐵太郎「傳記・オリゲネスの生涯と人物」信仰と生活38, 39, 40
- 三浦常夫「反ヒューマニズム」コギト61
- シュブランガー／小塚新一郎譯「精神史とは何か」(特別寄稿)理想71
- 批評と紹介「藤平武雄「西洋哲學講話」(上)」理想72
- 大西昇「金子馬治博士著作文獻攷」理想75
- 大西昇「金子馬治博士著作文獻目・」理想76
- 三木清「新道德の理念」理想79
- 岩崎喜一「ゲーテと教育」教育學研究6-1
 (参考：東京文理大學卒論、教育學研究6-2
 唐澤富太郎「ナトルプに於ける社會教育學の發展」
 濱田俊吉「デイルタイ精神科學理論の研究」
 藤木顯久「ヘーゲルに於ける教育思想」)
 (参考：廣島文理大學卒論、教育學研究6-2
 西正行「ナトルプ教育學研究」)
 (参考：東京帝國大學卒論、教育學研究6-2
 齋木薫「ナトルプの教育目的論」
 喜多秀義「シュライエルマッヘルの教育學と近世教育史に於ける
 其の地位」)
 (参考：京都帝國大學卒論、教育學研究6-2
 照井善信「愛と勞作——ゲーテの教育思想を中心として」)
- 石山脩平「イエーガーの希臘教育史觀について——ギリシヤ教育史の國家主義的新解釋」教育學研究6-7, 8, 11, 12
- 力甚一郎「獨逸陶冶組織に於ける人文主義」教育學研究6-8, 9, 10
- 大塚三七雄「ヘーゲルに於ける教育思想」教育學研究6-9, 10
- 紹介・唐澤富太郎「エロースと愛」(E. プルンナー) 教育學研究6-10
- 城戸幡太郎「教育史の研究方法」教育(岩波)5-1
- 書評「白根孝之譯「デイルタイの教育史・教育學概論」」教育(岩波)5-7
- 樺俊雄「生に對する歴史の利害」思想177
- 批評及紹介・K. N. 「アーノルド」(成田成壽「アーノルド」) 英文學研究17-3
- 海外哲學思潮・林達夫「大思想家の唯物論的研究」思想178 (のち「大作家の唯物論的研究」と改題)
- 阿部六郎「ツァラトウストラ“羞恥・同情・運命”土井虎賀壽氏のニーチェ分析」帝國大學新聞660 (2/15)
- 阿部六郎「羞恥・同情・運命——土井虎賀壽著「ツァラトウストラァー」」東京

書評・阿部六郎「齋藤龍太郎「ニーチェ論攷」」文學界4-9

山元一郎「生存の立場——ニーチェ哲學の研究、その一、その二」

立命館文學4-3, 4

山元一郎「最近のニーチェ研究」立命館文學4-12

内山貞三郎「ニーチェに関する重要文獻 ニーチェ哲學への二三の入門書並に
ニーチェ研究の時代相」書物展望7-2

豊永喜之「ニーチェのディオニソス・ディティラムベン」書物展望7-4

岩坪美實「ニーチェ、一つの試論」哲學評論1・創刊號

岩坪美實「ニーチェ、運命と愛」哲學評論4

大井正「パトス・ロゴス・超越」哲學評論4

鈴木三郎「ニーチェからヤスベルスへ」哲學評論5

(参考：史學界近事・西洋史部會、史潮7-2

武藤智雄「フェステル・ド・クーランジュをめぐる問題」)

新刊「邦譯アリストテレス全集第一冊(高橋長太郎譯「精神論」全集第8卷)」
文化4-7

内外文獻月報(歐文)「A. Messer, Geschichte der Philosophie im Altertum
und Mittelalter, 1937」經濟學雜誌1-5

内外文獻月報(歐文)「E. Gilson, The Philosophy of St. Thomas Aquinas, tr.
from the French ver. of "Le Thomisme", by Ed. Bullough,
ed. by rev. G. A. Elington, 1937」經濟學雜誌1-6

文獻解題「G. Steuer, Studien über die theoretischen Grundlagen der Zinslehre
bei Thomas u. Aquin, 1936」經濟學雜誌1-6

文獻解題「Nicols Oresme, Tractatus de origine, natura, jure et mutationibus
monetarum」經濟學雜誌1-6

文獻解題「Gabriel Biel, Tractatus de potestate et utilitate monetarum」經濟學
雜誌1-6

文獻解題「Juan de Mariana, De monetae mutatione disputatio」經濟學雜誌1-6

文獻解題「R. Goumard, Histoire des doctrines monétaires dans ses rapports
avec l'histoire des monnaies, 2 tomes, 1935-36」經濟學雜誌1-6

内外文獻月報(歐文)「H. Gauss, Plato's Conception of Philosophy, 1937」經濟
學雜誌1-9

紹介・祇園寺信彦「Altheim「古伊太利並びに古羅馬の神の觀念」」西洋史研究11

長島赤二「秋澤修二氏著「世界哲學史」」早稻田大學新聞72(5/19)

書評「小島威彦「世界創造の哲學的序曲」」唯物論研究51

堤克久「江戸中期以後の科學・哲學思想の概観」唯物論研究53
書評・戸坂潤「秋澤修二「世界哲學史（西洋篇）」」唯物論研究53（→昭13「讀
書法」に再録）

文獻批評・黒田亮「城戸幡太郎「心理學史（上）」」心理研究12-1

「神の聖顔」（ゲーテ）聖化126

天來「曠野に立ちて 夏雲秋風」（ソクラテスの独獨等）聖化129

「幸福」（藝天[ゲーテ]）聖化131

新著紹介「金澤常雄「バスカルの人間觀」」聖化132

五百旗頭眞治郎「トーマス・アクイナスと近世思潮（一）」國民經濟雜誌62-4

里脇淺二「聖トマス哲學の基礎概念」カトリック17-12, 3, 4, 5, 6, 7, 8

「新刊書目」、哲學研究250 ——

H. Freyer, Die politische Insel, Eine Geschichte der Utopien von
Platon bis zur Gegenwart, Lpz., Bibliogr. Inst.

E. Sehl, Erkenntnisontik in der griechischen Philodophie, Riga, Plates
「新刊書目」、哲學研究251 ——

Heraclitus : F. J. Brecht, Heraklit, E. Versuchü. d. Ursprung d. Phil-
osophie, Heidelbg., Winter

Lucretius : K. Büchner, Beobachtungen über Vers und Gedankengang
bei Lukrez, Berl., Weidmann

Plato : W. F. R. Hardie, A study in Plato, Oxf. Clarendon Press

Thomas Aquinas, Kommentar zu des Aristoteles drei Büchern die
Seele, Übers. u. erl. v. Alois Mager, Wien

「雜誌要目」 —

H. Henne, "La résurrection de la Rome antique", Revue d'Histoire de la
Philosophie et de d'Histoire Générale de la Civilisation, N.
S. Fasc. 15

「新刊書目」、哲學研究252 ——

Aristoteles : Badareu, L'individu chez Aristote, Paris, Boivin

H. Gomperz, Theodor Gomperz, Bd. I, Wien, Gerold & Co.

W. Jaeger, Humanistische Reden und Vorträge, Berl., W. de Gruyter

「新刊書目」、哲學研究254 ——

Augustinus : Über die Psalmen, Ausgew. u. übertr. v. H. U. v. Balthas-
ar, Lpz., Hegner J. Ritter, Mundus intelligibilis, Eine
Untersuchung zur Aufnahme und Umwandlung der
neuplatonischen Ontologie bei Augustinus, Frankfut a.

M., Klostermann

Plato : Platonische Rechen schaf, Platons 7, Brief übers. u. ausgelegt v.
H. Weinstock, Berl., Die Runde

Olympiodoris philosophi in Platonis Gorgian commentaria, Ed. W. No-
rvin, Lpz., Teubner

D. Roser, Erziehung und F u hrung, Versuch u ber Sokrates und Plat-
on, Stuttgt., Kohhammer

〔新刊書目〕、哲學研究255 ——

Aristoteles : Organon III, Les Premiers Analytiques, Nouv. trad. et not-
es, par J. Tricot, Paris, J. Vrin

Aristoteles : Le plaisir (Eth. Nic. VII, 11-14 ; X, 1-5) , Introd. , trad.
et notes par A. J. Festgi e re, Paris, J. Vrin

Plato : A. J. Festgière, Contemplation et vie contemplative selon
Platon, Paris, J. Vrin

(参考 : 彙報「哲學茶話會」、哲學研究256

山元一郎君「ニイチェについて」)

(参考 : 彙報「倫理學研究會」、哲學研究256

横山巖君「人格の問題 —— ベルグソンに關して」)

〔新刊書目〕、哲學研究256 ——

N. Hartmann, Der Megarische und der Aristotelische M o glichkeitsb-
egriff, ein Beitra ge zur Geschichte des ontologischen
Modalit a tsproblems, Berl., W. de Gruyter

Plato : A. Speiser, Ein Parmenideskommentar, Studien zur Platonis-
che n Dialektik, Lpz., K. F. Koehler

Plotinus : Schriften, Übers. v. R. Harder, Bd. 5, Lpz., Meiner

〔新刊書目〕、哲學研究259 ——

Aristoteles : Organon, In 2 vols. vol. 1, tr. by A. P. Cooks & H. Treden-
nick, (Loeb Lib.) Lond., W. Heinemann

Plato : H. Gauss, Plato's conception of philosophy, Lond., Macmillan

K. Vorländer, Geschichte der Philosophie Bd. 1, Lpz., Meiner

C. ②ソヴィエト大百科版／西雅男譯『唯物史觀・歐洲古代史』

佐藤秀男『西洋史 —— 古代・中世』

リットン作／中村詳一譯『ボンベイ最後の日』(世界文藝全集18)

小栗襄三『アッシリア學概説』

イリーン著／玉城肇譯『書物の歴史』(科學シリーズ2)

- ③田中秀作「殖民地理上より見たる希臘羅馬の對外發展」彦根高商論叢20
 角田文衛「バフイオ盃に就いて」考古學論叢4
 角田文衛「埃及・希臘の文化交渉」考古學論叢6
 青木巖「プラトンとシケリア史の資料」史學16-1
 近山金次「ローマ皇帝トラヤヌスの東方政策に就て」史學16-2
 (参考：史學會近事・西洋史部會、史學雜誌572・史潮7-2
 秀村欣二「ユリアヌス帝の羅馬皇帝觀」)
 (参考：西洋史讀史會、史學雜誌577
 村川堅太郎「ギリシヤ人の聚落位置選擇の付いての一の考察」)
 山室軍平「アレキサンダー」ときのごゑ979
 高坂正顯「歴史哲學と政治哲學」思想185
 橘忠衛「アントニとクリオパトラ——アントニ」思想185
 原隨園「シーザーの場合」歴史公論6-4
 加藤澄藏「シーザーの禿頭」警察協會雜誌442
 祇園寺信彦「ローマの帝Probusととその時代」西洋史研究12
 中川一男「西洋史上に於ける女性」歴史教育12-3
 (参考：東京帝國大學文科卒論、歴史地理69-2
 藤原正幸「コンスタンチヌス大帝と基督教」)
 (参考：東北帝國大學法文學部卒論、歴史地理69-3・文化4-2
 小野寺通典「ローマ皇帝史上に於けるハドリアヌス帝の地位」)
 (参考：京都帝國大學文科卒論、歴史地理69-4・史林22-2
 杉村正治郎「エラトステネスの地理學」
 角田文衛「希臘世界の成立に就いて——多島海文明の一考察」)
 (参考：史學研究會、史林22-2
 井上智勇「アウグスツスの地位に就いて」)
 鈴木成高「アウグスティヌスとその時代」史林22-4
 (参考：會報・西洋史部會、歴史學研究7-1
 秀村欣二「ギリシヤ人の民族意識」)
 村川堅太郎「ギリシヤ人の聚落位置選定——五・四世紀の新設Polisに就いて」
 歴史學研究7-11(増刊)
 保田與重郎「ギリシヤのヘテリスムス以後」日本浪漫派3-7
 早川二郎「『古代社會史』は東洋關係なり!!」唯物論研究53
 飯本信之「アレクサンダー大王とアレクサンドリアの建設時代と地理」
 地理教育26-4
 飯本信之「ストラボ及び初期のラテン著述家と地理」地理教育26-5

飯本信之「トレミーと地理」地理教育26-6

飯塚浩二「學說上より觀たる地理學の基礎概念(1)」地理教育26-6

飯本信之「初期基督教時代の地理的暗黒時代」地理教育27-1

- ④書評・角田文衛「H. Schliemann, Selbstbiographie bis zu seinem Tode vervollständigt, 2 Aufl., 1936」考古學論叢4

内外文獻「H. A. Davis, An Outline History of the World, 1937」經濟學雜誌1-6

内外文獻月報(歐文)「J. A. Richard, An Outline of ancient, medieval and modern History; adigestion of the history of civilization, 1937」經濟學雜誌1-7

内外文獻月報(歐文)「A. Goffredo, La filosofia della storia, 1937」經濟學雜誌1-8

内外文獻月報(歐文)「U. Ginelin, Römische Herrscheridee und päpstliche Autorität, 1937」經濟學雜誌1-9

戸坂潤「讀書法日記(9)」(樺俊雄譯「ドロイゼン・史學綱要」)日本學藝新聞32

書評・伊豆公夫「ドロイゼン／樺俊雄譯「史學綱要」」唯物論研究60

書評・早川二郎「ソ連大百科辞典版・西雅男譯「唯物史觀・歐洲古代史」

唯物論研究60

宮島肇「歴史と解釋學」(ディルタイ)理想72

海外史壇紹介・近山金次「エトルリヤ研究の現状」史學16-3

—— Bartolomeo Nogara 「エトルリア人とその文明」(1936年)

Trombetti, La lingua etrusca/W. Schulze

平山榮一「最近のギリシヤ史界」(P. Cloche, "Histoire grecque (1931-1933)", Revue historique, Tom. CLXXVIII, Sept.-Oct., '36による)史學16-3

—— M. Cary, A History of the Greek World (323-146 B. C.)

G. Radet, Notes sur l'histoire d'Alexandre; VIII: Alexandre à Troie. Étude complémentaire (R. E. A., 1932)

F. Maurice, The Campaign of Marathon (J. H. S. 1932)

P. Treves, Demostene e la libertà greca, Bari, Laterza, 1933

B. Breloer, Alexanders Kampf gegen Poros. Ein Beitrag zur indischen Geschichte.

Stuttgart, W. Kohlhammer, 1933

中川一男「クリオ叢書」(フランス)史潮7-4

B. L. ボガニフスキー「歐米における「エーゲ文化」研究の現状と我々の研究的任務(一)」歴史4, 5, 6月號

海外史界・栗野頼之祐「ハヴァード大學創立三百周年祭に臨みて」史學雜誌

- 田中正義「昭和十一年度我が西洋史學界の状況」史學雜誌571
 海外史界・西村貞二「最近のブルクハルト研究」史學雜誌576
 杉田英一郎「歴史哲學史要」明大史學會々報4
 紹介「Kurt Breysig, Die Meister der entwicklenden Geschichtsforschung, 1936」
 史林22-1
 紹介「J. G. Droysen, Historik, vorlesungen über Enzyklopædie und Methdologie
 der Geschichte, heraus. v. R. Hübner」史林22-3
 新刊「K. Löwith, Jacob Burckhardt」文化4-5
 「新刊書目」、哲學研究254 ——
 H. Lietzmann, Peterus, römischer Märtyer, Berl., W. de Gruyter
 「新刊書目」、哲學研究255 ——
 Hegel : Leçons sur la philosophie de l'histoire, trad. par J. Gibelin,
 Tom. 1, Paris, J. Vrin
 「最近の經濟史學界」經濟史研究17-1
 —— E. Hesselmeier, "Tactius und das Dekumatland", Welt als
 Geschichte 2[3], '36
- D. ①ホーマー作／土井晚翠譯「イーリアス第一歌」學士會月報588
 ホーマー作／土井晚翠譯「イーリアス第二歌」學士會月報594
 立石美和『イソップ物語』
- ②工藤直太郎『西洋古典物語』
 『芳賀矢一集』（「國學とは何ぞや」「希臘の古劇と我が國の能樂」）
 新生堂編集部『世界名著讀本』（第4「ダンテ・神曲」）
 ヴィルヘルム・トムセン著／泉井久之助・高谷信一譯『言語學史 —— その
 主要點を辿りて』
 石山脩平編『ギリシヤに於ける言葉と教育』（晚翠會編「言語文化體系」）
 高津春繁『ON THE DIALECTIC OF ALKMAN』（ギリシヤ選書1）
 高津春繁『A Study of the Instrumental Adverbs, Particles, and Conjunctions in
 the Greek Dialects, especially those in -α - η - ω』（ギリシヤ選書2）
 木村雄治『ラテン語第一歩』（羅甸語入門叢書第1篇）
 松岡敏幸『ラテン語第一歩』
 飯田忠純『西洋音樂史概説』
 服部龍太郎『西洋音樂研究十四講』
 オンリ・マルタン編／柳亮譯註『世界美術全史・第2卷』（「希臘・古羅馬」）
 石井柏亭『西洋繪畫史』（洋畫實技講座5）

柳亮『佛蘭西ルーヴル美術館研究所編「様式世界美術史第二巻——希臘・羅馬」
ゲーテ著／小牧健夫譯『詩と眞實——私の生涯から』（改造社版「ゲーテ全集」
20, 22)

フリーチェ著／外村史郎譯『歐洲文學發達史』（改造文庫）

ブランドス著／栗原佑譯『ゲーテ研究』（改造社）

龜井勝一郎『人間教育——ゲーテへの一つの試み』（→昭14再版）

- ③上野直昭「ギリシア建築と朝鮮建築等、特柱について」黒田亮編「速水博士還
曆記念・心理學哲學論文集」中

（参考：會報「西洋史部會」、史觀11

荻野博「多島海新石器時代の女神像について」）

針ヶ谷鐘吉「古代羅馬の庭園」庭園10, 12

上田忠雄「イソプ寓話考」信濃教育604, 605

村田數之亮「フィラックス物語」関西大學學報152

シェリング／松下武雄譯「藝術哲學」コギト57, 62, 63

芳賀檀「サッフォの歌」（詩）コギト60

松下武雄「文學の發端」（プラトン）コギト63

松下武雄「詩人の建設」（プラトン）コギト64

呉茂一「春とところどころ——古典詩漫步」思想178

呉茂一「初夏のころ——ギリシア文學漫步」思想182

三木清「古典に於ける歴史と批評」文學5-4

立澤剛「古典の反譯に就いて」文學5-4

齋藤清衛「文學に於ける批評と解釋の限界」文學5-4

新谷虎之助「我が古典に表示されてゐるヘレネ語」歴史6, 7月號

（参考：立教大學史學科卒論、史苑10-4

田村武敏「希臘演劇史」）

（参考：東京帝國大學文科卒論、歴史地理69-2, 史學雜誌567

八尾直三郎「ホメロス・ヘシオドスの研究」）

世界文學名作繪物語「希臘神話——トロイの陥落」むらさき・臨時増刊

村岡勇「トロイラス物語考」文化4-2

秋元蘆風「ペーとレアンデルの傳説を歌った或る物語唄」歌謡詩人6-1, 2

（参考：各部研究會（5/8）、唯物論研究56

杉本良吉「演出論」（史的概観））

ゲーテ／片山敏彦譯「古代調に近づきつつ」（改造社版「ゲーテ全集」2）

- ④新刊「W. Rehm, Griechentum und Goethezeit, 1936」史苑10-4

- 紹介・西村貞二「W. Rehm, Griechentum und Goethezeit, 1936」歴史學研究7-12
 獨逸文壇消息・吉田孚「Wandel des Griechenbildes in achzehnten Jahrhundert
 (Winckelmann, Lessing, Herder), v. Charlotte Epheraim, 1936」獨逸文學 1-2
- 秋山英夫「青年ニーチェとゲーテ」獨逸文學1-2
 (参考：第一回獨逸文學研究會大會及び懇親會記事、獨逸文學1-2
 植田敏郎「ゲーテのプロメテウスについて」)
- ロマン・ローラン／石川湧譯「ゲーテ論——死して成れ」自由1-4
 馬場久治「ニーチェと音楽」コギト56
 馬場久治「ゲーテとニーチェ」コギト61
 馬場久治「ニーチェと萩原朔太郎」コギト64
 批評と紹介・茅野蕭々「ゲョエテと哲學」理想79
 龜井勝一郎「ゲエテ研究 —— ブランドス／栗原佑譯」文學界7月號
 大西昇「藝術哲學の根本問題」理想72
 姉崎邦臣「喪服はエレクトラに相應し」アルビオン5-4
 眞鍋義雄「ホムセン「言語學史」」アルビオン5-5
 大庭千尋「現代教育と古典」(Eliot) アルビオン5-6
 ウェルフルン／林達夫譯「イタリアとドイツ形式感情と」思想24
 龍口直太郎「英國ヒューマニズムの運動」(Eliot) 英語青年76-11, 12
 岡一男「文藝を求める心 —— 工藤直太郎氏の「西洋古典物語」」早稲田大學新
 聞72 (5/9)
 高沖陽造「萬葉と希臘古典 —— 東西古典の異同」早稲田大學新聞72 (5/19)
 大澤衛「喜劇精神」を包む喜劇」(メレティス) 英文學研究17-2
 追憶・山田好文「ジャーナリストとしての住谷穆君を思ふ」(アナトール・フ
 ランス、ダンテの神曲、ラスキン等) 聖化128
 特別寄稿 (在米・緑野散史) 大戸敏寄稿「榛名行」(梅峯 (パイロン) 等)
 聖化132
- 齋藤秀一「ラテン化運動について」中國文學月報24
 小澤三郎「日本最古の和譯聖書と翻譯者ギュツラフ先生」史觀13
 八木龜太郎「言語學と宗教史」(George van Laugenhove, La Linguistique et
 l'Histoire des Religions) (新) 宗教研究14-3
 柳谷武夫「年代別切支丹關係文獻目録」カトリック17-1, 2, 3, 4, 5
 「雜誌要目」、哲學研究251 ——
 W. Deonna, "L'esprit grec et l'esprit primitif en art", Revue Philosophique de la France et de l'Étranger, 61 Ann e e, no. 11/12

「新刊書目」、哲學研究254 ——

U. v. Wilamowitz-Moellendorff, Kleine Schriften, V. 1, 2, Berl., Weidmann

E. ①佐伯好郎譯「ユ帝欽定勅法彙纂邦譯」法律論叢16-5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12

矢田一男譯「儒帝法學撮要邦譯」法學新報47-2, 4, 6

田中秀央・田中周友譯「儒帝新勅法第3・4・5號邦譯」法學論叢37-5

木巖譯『アリストテレス「國家學」』

②永田清『アリストテレスの國家學』

栗生武夫『法の變動』

船田享二『羅馬元首政の起源と本質』（京城帝國大學法學會叢刊第2）

戸倉廣『羅馬法の世界史的使命』

ヨハンネ・ラウレス著／崎村茂樹譯『スコラ學派ノ貨幣論』

西本穎『利息法制史論』

村教三『不動産貸借法史論』

ギピンズ著／杉葉榮重譯『歐洲商業發達史』

ハインリッヒ・クーノー著／高山洋吉譯『經濟全史』（8冊）

大阪商科大學經濟研究所編『世界經濟年表』

③船田享二「ハドリアヌス帝の法學說公定」國家學會雜誌51-5, 6

南原繁「基督教の「神の國」とプラトンの國家理念 —— 神政政治思想批判の爲に」國家學會雜誌51-10, 11

長谷川如是閑「政治學の二大典型 西洋政治學と東洋政治學の原始的典型」

日本評論12-12

藤井新一「プラトー及アリストートルの政治哲學觀」公法雜誌3-11, 12

穴原榮三郎「プラトン、アリストテレスの僭主政治論」史學15-4

青木巖「プラトン政治思想の序論」哲學（三田哲學會）16

小林榮三郎「アリストテレスとアウトタルキー」歴史と生活 1

資料「昭和十二年施行、東京、京都、東北、九州各帝大法學部法文學部試験問題」、法律時報9-5

—— 政治學史：東北（牧野教授）「アリストテレス、ポリビオス、モンテスキュー、ルソー等諸氏の政治學說に見ゆる勢力均衡の理論の發展を考察せよ」

法理學：東大（高柳教授）2.（イ）「アリストテレスの正義論批判」

法制史・法史學：東北（栗生教授）2. 「ローマ法繼受の經過を叙し、その原因に論及すべし」

羅馬法：東大（原田助教授）1. 「時効制度について」2. 「Locatio conndu-

ctioについて」

京大（田中教授）「左の事項の簡短なる説明。arrha poenitentialis, custo dia, interpolatio, locatio conconductioの概念／mancipatioの單獨行爲性、periculum emptorisの法隆性、vinndicatio gregis」
九大（武藤助教授）1. 「(a) (b) 中一問選擇。(a) 羅馬法に關する諸子自身の研究の略述 (b) Ius praetorium（法務官法）を論ず」
2. 「(a) Ludwig MITTERIS (1859-1921)」 (b) 《SPONDENE MIHI CENTUM DARE ?》—《SPONDEO》 (c) nemo pro parte testatus, pro parte intestatus decedere potest」

慶應義塾大學講座「經濟學」中（→昭14まで）

第1 —— 高橋誠一郎「經濟學史」

加田哲二「社會思想史」

第2 —— 高村象平「西洋經濟史」

武藤智雄「羅馬法の展開——マンキパーチオとマヌミッツオを中心として」

九州大學法文學部十周年記念・法學論集中

戸倉廣「羅馬の市自治團體」經濟法律論叢8-1

出隆「ギリシヤ人の政治思想」思想185

恒藤恭「正義の本質について」法と經濟8-3, 4

板倉卓造「ローマ共和政治の類廢期」三田政治學會誌13

高橋清吾「『アテネ憲法論』に現はれたる政治形態の變遷に就いて」早稻田政治經濟學雜誌51

高橋清吾「『アリストテレス經濟論』について」早稻田政治經濟學雜誌55

向井章「フェニキア經濟の基礎」山口高商雜誌8-5

向井章「フェニキア經濟の發展」山口高商雜誌8-6

田中周友「ローマ法史の端緒序説」法學論叢36-4

植橋渡「ローマ時代に於ける貨幣變動と契約上の諸問題の研究」法曹公論1, 2, 3, 5, 9月號

④書評・近山金次「アリストテレス『國家學』」史學16-1

批評と紹介「青木巖譯「アリストテレス／國家學」理想73

書評・戸鞠雅彦「アリストテレス／青木巖譯「國家學」三田評論477

書評・島原逸三「永田清「アリストテレスの國家學」三田新聞368 (3/31)

書評・船田享二「カレントブックス：栗生武夫「法の變動」」帝國大學新聞690 (10/18)

紹介（細川生）「栗生武夫「法の變動」」法學志林39-4

紹介（細川生）「マルク氏・法律思想史に於けるドイツ的とローマ的」法學志

- 紹介「船田享二「羅馬元首政の起源と本質」」法學志林39-7
- 田中秀央「羅馬法大全中の新勅法の邦譯」服部報公會研究抄・3
- 新刊・三戸壽「船田教授著「ローマ元首政の起源と本質」」法學6-1
- 新刊・十龜豊一郎「船田享二「ローマ元首政の起源と本質」」史學研究9-1
- 文獻相談「自然法に関する文獻」法律時報9-1
- 牧野英一「急如律令・(25)(26)(27)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)」(イエーリング、ローマ法等)法律時報9-1, 2, 3, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
- 新刊批評・横田喜三郎「恒藤教授「法の基本問題」」法律時報9-2
- 新刊「船田享二「羅馬元首政の起源と本質」」法律時報9-2
- 木村龜二「法律思想家評傳(一)」(サヴィニー)法律時報9-6
- 新刊批評・三戸壽「西本穎「利息法制史論」」法律時報9-7
- 木村龜二「共同體自然法論の意義と價值」法律時報9-10
- 新刊「戸倉廣「羅馬法の世界史的使命」」法律時報9-10
- 新刊「西本穎「利息法制史論」」法律時報9-11
- 新刊「船田享二「羅馬元首政の起源と本質」」文化4-2
- 三戸壽「船田教授「羅馬元首政の起源と本質」」法學6-1
- 三戸壽「獨逸に於けるローマ法繼受をめぐる原因論の諸相」法學6-2, 4
- 藤井新一「政治哲學論」日本法學3-7, 8, 9, 11, 12
- 紹介・木村龜二「フレヒトハイム「ヘーゲルの刑法理論」」國家學會雜誌51-1
- 紹介・久保正幡「船田享二「羅馬元首政の起源と本質」」國家學會雜誌51-2
- 尾高朝雄「恒藤恭「法の基本問題」」國家學會雜誌51-2
- 内外文獻「G. H. Sabine, A History of Political Theory, 1937」經濟學雜誌1-6
- 近著文獻(川原・小松)「船田享二「羅馬元首政の起源と本質」」早稻田政治經濟學雜誌51
- 近著文獻(川原・小松)「G. Mosca, Histoire des Doctrines Politiques depuis l'antiquité jusqu'à nos jours, 1936」早稻田政治經濟學雜誌52
- 高橋清吾「エラスムスの政治思想」早稻田政治經濟學雜誌53
- 高橋誠一郎「トーマス・アイ・クック助教授著「プレートオよりパークに至る政治哲學史」」三田學會雜誌31-7
- 五百旗部眞治郎「トーマス・アクイナスと近世思潮」國民經濟雜誌62-5, 6
- 氣賀重躬「基督教史に於ける國家觀の發達」經濟評論(青山學院)25
- 淵定「ヘーゲルとプロイセンの國家」公法雜誌3-3
- 五十嵐豊作「モンテスキューの政治的性格」公法雜誌3-5, 6

Q. P. 「神童穂積陳重博士」現代新聞批判81

Q. P. 「カトリック教徒田中耕太郎博士」現代新聞批判84

Q. P. 「新法學博士恒藤恭氏」現代新聞批判94

宮本又次「André M. Andréades」（「希臘財政史」）經濟史研究17-2

「最近の經濟史學界」經濟史研究17-4

—— M. Carsow, "L'economie de la Grèce antique", J. des économistes

95 [5], '36

「最近の經濟史學界」經濟史研究18-5

—— W. Schubart, Verfassung und Verwaltung des Ptolemaerreichs

「最近の經濟史學界」經濟史研究18-6

—— A. Dopsh, The economic and social foundations of European civilization, '37

岡崎文規「ゲーテと統計學」經濟史研究17-6

F. ①山田節三譯「ヴェスヴィアス噴火に関するプリニウスの書簡」地理學5-4

眞島隆輔譯「ヒポクラテス集」東京醫事新誌3030, 3037, 3041, 3046, 3047,
3048, 3052, 3055, 3056, 3061,
3062

②加茂儀一『家畜文化史』

田邊元『哲學と科學との間』（「古代哲學の質料概念と現代物理學」）

仲小路彰『世界史話大成・第4卷』（第3部「古代ギリシア科學文明の展開」）

ウェブスター著／宮原治・森田俊彦譯『オリンピック競技史』

③（参考：會報・「大會」（第72教室）、史觀11

定金右源二君「古代希臘のオリンピック・ゲームズ」

（参考：會報「西洋史部會」（文學部研究室）、史觀11

平田寛君「古代印度數學の史的考察」

平田寛「Geometriaの概貌——古代希臘文化の一ジャンルとして」史觀13

オットー・トエブリッツ／長澤信壽譯「プラトーンに於ける數學と形相の關係」
哲學研究254, 259

清水直三郎「ギリシヤ時代に於ける體育」體育研究所研究紀要1

竹之下休藏「オリムピックと近代オリムピック」女子と子供の體育2-1, 2

瀬川三郎「月桂冠とオリブの冠」（オリムピック）帝國教育700

横山格郎「オリムピック物語」學校教育3月號

佐藤清「オリムピック理念に對する青年教育、即國民的課題」公民教育16-4

「最新養護體育法汎論」（第2章「體育の史的考察」）教育學術界・春季臨時大
特集號

(?) 「ギリシア人の宇宙観察」 科學知識17-9

④書評・中川清「ハイゼンベルク「近代物理學に於ける古代自然學の思想」

哲學雜誌606

書評「加茂儀一「家畜文化史」 唯物論研究56

本多修郎「ヘーゲルと數學的自然科學」 哲學評論 4

「新刊書目」、哲學研究253 ——

A. Diès, Le nombre de Platon, Paris, C. Klincksieck

「新刊書目」、哲學研究259 ——

Aristoteles : Parts of animals, tr. by A. L. Peek, Movement and progression of animals, tr. by E. S. Forster (Loeb Lib.) Lond., W. Heinemann

G. 田中秀央・落合太郎編『ギリシア・ラテン引用語辭典』(西田幾多郎「推薦の辭」)

神田盾夫「古典名句の玉手箱」(田中・落合編「ギリシア・ラテン引用語辭典」)
帝國大學新聞700 (12/20)

書評「田中・落合編「ギリシヤ・ラテン引用語辭典」 京都帝國大學新聞273
(12/20)

ミーティン& イシチェンコ著／廣島定吉譯『唯物論辭典』

平凡社編『新撰大人名辭典』(全8冊、第8卷「外國人名」、→昭13)

『富山房國民百科大辭典』(全14卷、別卷1)

新刊紹介「法律學辭典」(第五卷總索引) 法律時報9-4

新刊紹介「末川博編「新法學辭典」(上卷)」 法律時報9-6

末川博編『新法學辭典』(下卷)

我妻榮・横田喜三郎・宮澤俊義編『岩波法律學小辭典』

片山正雄編『双解獨和大辭典』(改訂增補16版)

大武和三郎編『葡和新辭典』?